

平成22年度

# 調査研究助成事業報告書

全国特別支援学校知的障害教育校PTA連合会

# **子どもの将来のために 今何ができるか**

**栃木県立那須特別支援学校PTA**

## 【目 次】

はじめに	1
I 研究主題・研究概要	2
II 調査研究メンバー・日程と内容	3
III アンケート調査実施手順	4
(1) アンケート実施期間	
(2) 調査項目	
(3) 送付方法	
(4) 調査担当	
(5) 調査内容	
(6) 卒業時の進路状況	5
(7) 調査方法・回収状況	6
(8) 調査対象	7
IV アンケート調査結果	8
V 県北地域育成会保護者会代表との懇談会	18
VI 本校卒業生を担当した教員と役員との懇談会	19
VII 参加した役員の意見	
－ 子供の将来の為に今親として出来ること －	20
おわりに	24

## はじめに

「子供の将来のために、親として何ができるだろう」

我が子が学校を卒業した後の生活や、親亡き後の不安を少しでも減らす事ができる様に、「何か行動を起こしたい」、「でも何をして良いのかわからない」そう思っている保護者の皆さんもいらっしゃると思います。

今回、調査研究の機会をいただいて、卒業後の生活を考える参考になる様、卒業生へのアンケート調査を行いました。また、卒業生を担当した先生方と懇談を行い、学校で行っている卒業生への支援や先生方の思いを伺いました。

本校PTAでは、卒業後の親同士の繋がりを拡めるため、在学中からの仲間作りに力を入れています。子供たちが在学中からスムーズに地域での生活を営める様、各地区の育成会や親の会等のネットワーク作りがこの事業をきっかけに始まりました。

様々な方が関わって下さったこの報告書を読んで、「何か」を探している保護者の皆さんが少しでも前へ歩みはじめてくれる事を心より願っています。

## I 研究主題

子どもの将来のために、今、親として何ができるのかを考えたり行動したりする機会をつくるために

### 研究概要

本校には開校当初から様々な障害をもつ児童生徒が入学し、多様な進路先を選択し卒業していった。本校PTAでは在学中の保護者として卒業後の生活を考える上で、多くの情報を得たいと考えている。そこで、過去11年間の卒業生に、アンケートによる追跡調査を行い、就労先への定着状況、転職状況、福祉施設の利用状況を調べる。

また、在学中に習得したことが社会生活でどのように役立っているか、在学中にどんな支援が必要か、保護者として何をしておけばよいかなどを考察し、今後に活かしていく。具体的には本校保護者、アンケート回答者、県内特別支援学校進路指導部に調査結果を配付し進路選択や生活支援に活かす一助となるようにする。さらに、回答により困難事例があった場合には、可能ならば相談機関を紹介するなどの支援を検討する。

## II 「調査研究」メンバー

保護者から
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 那須特別支援学校 P T A 役員</li> <li>・ 那須特別支援学校 進路福祉委員会</li> </ul>
教員から
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 那須特別支援学校 進路指導部</li> <li>・ 那須特別支援学校 渉外部</li> </ul>

## 「調査研究」日程と内容

	日 程	内 容
第1回	6月25日 13:00～15:00	日程調整、作業場所確保・準備
第2回	6月～12月	経費確認、全知Pへの領収書等整理
第3回	7月26日 10:00～13:00	アンケート内容に対するアンケートの検討 アンケート作成
第4回	8月～9月	住所と名前ラベル準備・貼り付け
第5回	9月9日 10:00～14:00	県北地域育成会・保護者会との懇談会
第6回	9月13日 10:30～11:00	アンケート入れ、返信封筒入れ、のり付け
第7回	9月下旬	発送、不在郵便の処理
第8回	10月中旬	取りまとめ
第9回	10月下旬	アンケートのまとめ、集計、冊子原稿作成
第10回	11月8、15、26日	考察
第11回	12月3日	卒業生を担当した教員と役員の懇談会
第12回	12月6、8、10日	考察
第13回	12月9日	印刷業者との連絡調整
第14回	12月下旬	提出用原稿作成
第15回	1月中旬	各所へ送付

### Ⅲ アンケート調査実施手順

#### (1) アンケート実施期間

平成22年9月～10月。

#### (2) 調査項目

本校PTA進路福祉委員会と進路指導部が平成21年に、平成19年度と平成20年度の本校卒業生を対象として追跡アンケートを実施した資料を参考にPTA役員が案を作成した。その後、進路指導部と渉外部で検討を行った。

#### (3) 送付方法

平成11年度～平成21年度の卒業生404名の自宅あるいは生活の場に、調査用紙と返信用封筒を送付した。アンケートの封入作業は、進路福祉委員会が行った。

#### (4) 調査担当

発送、不在郵便の処理や回収などの取りまとめなどは、個人情報のため進路指導部、渉外部教員が担当した。アンケートのまとめ、集計、冊子原稿作成はPTA役員、進路福祉正副委員長が行った。

#### (5) 調査内容について

##### 【Ⅰ 生活について】

- 1, (1) 障害者手帳はお持ちですか？  
(2) 障害者基礎年金は受給されていますか？
- 2, 現在、暮らしている場所を教えてください。
- 3, (1) 日中、主に過ごしている場所はどこですか？  
(2) 暮らしている場所と日中、過ごしている場所が違う方は移動方法を教えてください。  
(3) 日中、主に過ごしている場所は、卒業した後から変わりましたか？  
①「ア. 変わらない」とお答えになった方、今の場所の良いところを教えてください。  
②「イ. 変わった」とお答えになった方、原因となったのはどんな理由だと思えますか？  
③「変わった」とお答えになった方、通う場所が変わった時に困ったのはどんなことですか？  
④ 通う場所が変わった時はどこ(誰)に相談しましたか？
- 4, 障害者基礎年金以外の収入はありますか？  
(1) 「ア. ある」と答えた方は、どのような収入ですか？  
(2) 「イ. なし」と答えた方は、主な生活費は どうしていますか？  
(3) 1か月にどのくらいの収入がありますか？  
(4) 収入は、主にどのように使っていますか？
- 5, (1) 福祉施設を利用している方は、月に何回ぐらい利用していますか？  
(2) 利用しているサービス内容と、できれば大まかな利用料を教えてください。
- 6, 休日は、どんなことをしていますか？
- 7, 生活面において、将来の希望はありますか？

##### 【Ⅱ 学校について】

- 1, 進路はどのようにして決めましたか？
- 2, 卒業してから、学校生活で役に立ったことはどんなことがありますか？
- 3, 今、振り返って、在学中にしてほしかったこと、知りたかったことはありますか？
- 4, (1) 卒業後に困ったことが起きた場合は誰に相談していますか？  
(2) 困ったことが起きた時に、どんな支援がほしいですか？
- 5, その他、現在困っていること、相談したいこと、在校生にアドバイスなどありましたら、自由にご記入ください。であった。

(6) 卒業時の進路状況

(※ 学校に記録が残っているのがH13年以降であった)

表1

進路 年度	高等部卒業 者数	知的障害 者更生施 設	知的障害 者授産施 設	知的障害 児施設	重度心身 障害児施 設	障害者福 祉作業所	就職	在宅	その他 (デ・イ・ビ ス等)
H13	31	3	0	1	0	9	7	6	5
H14	27	2	5	0	0	8	5	4	3
H15	34	1	13	0	2	4	4	6	4
H16	46	3	10	2	3	5	4	9	11
H17	40	1	15	0	4	0	9	2	9
H18	43	1	21	0	2	5	6	3	5

表2

年 度	進 学	就 職	障害者支援施設				施設（通所を含む）				在宅・その他	合 計
			大学・ 専門学校	別表参照	生活介護	生活訓練	就労移行 支 援	就労継続 支援 (B)	知的障害 者授産施 設	知的障害 者更生施 設		
H19	0	15	8※		3	0	4	6	4	4	2	46
H20	0	14	8	7	5	0	2	1	0	2	2	41
H21	0	13	6	4	1	1	7	0	2	3	0	37

(※H18年より自立支援法になり、サービス体系が変わった。)



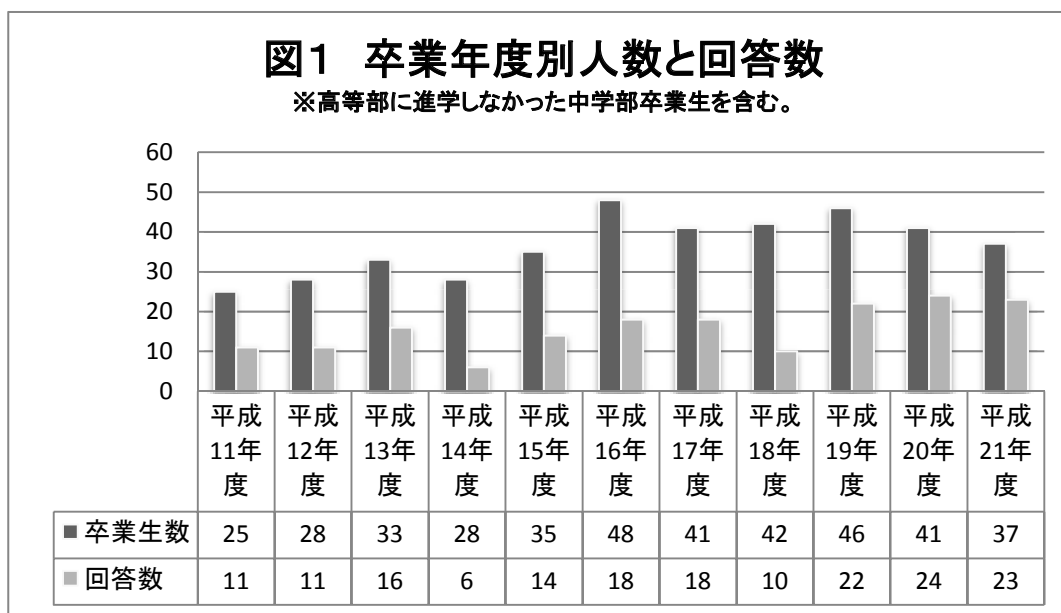
## (7) 調査方法・回収状況

### ○ 調査方法

那須特別支援学校の過去11年間の卒業生404名に、在校生保護者の聞き取りアンケートでまとめた調査内容を送付し、就労先への定着状況、福祉施設の利用状況を調査した。その際、相談機関の一覧表も同封した。

### ○ 回収状況

404名のうち、回収数は、173通であり、回収率は、42.8%であった。卒業年度別人数と回答数を図1に示した。



## 参照 障害者福祉サービスの移行

	措置制度		支援費制度		障害者自立支援法
戦後	→	平成15年3月まで	→	平成18年3月まで	→
		平成15年4月から		平成18年4月から	現在

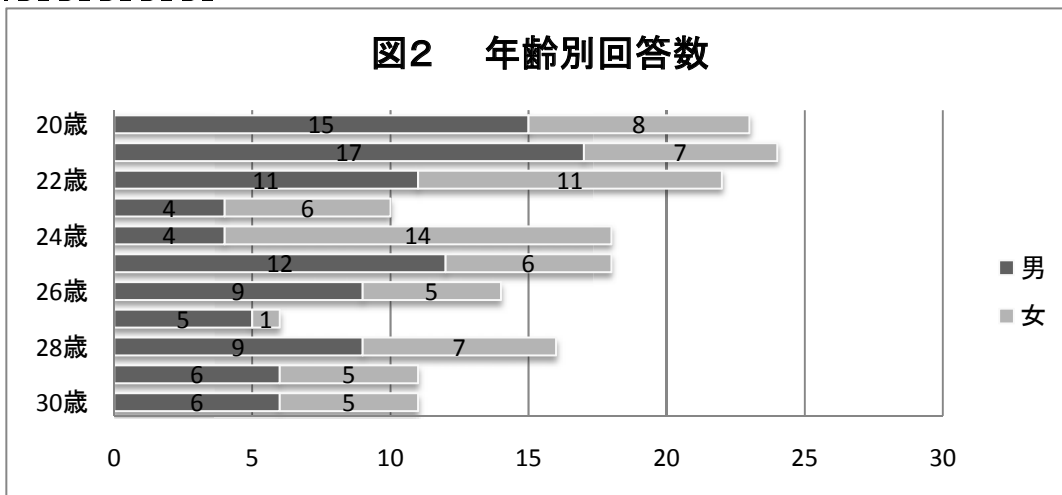
障害者福祉サービスとは

措置制度（戦後から平成15年3月までの50年間）から支援費制度（平成15年4月から平成18年3月までの3年間）さらに障害者自立支援法（平成18年4月から現在）と変わり、障害者の自立した生活を支援する体制をより強固なものとするため、障害者福祉サービスの一本化、施設・事業体系の再編、利用負担の見直しなど新たな障害福祉体系の基で、サービスを利用することになった。

この調査を行った10年間で、福祉制度が大きく変わった。

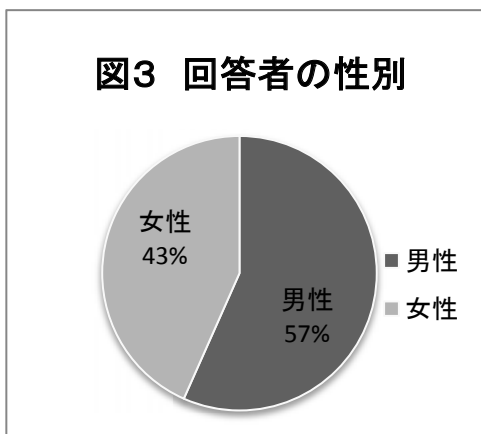
## (8) 調査対象

### 1 年齢



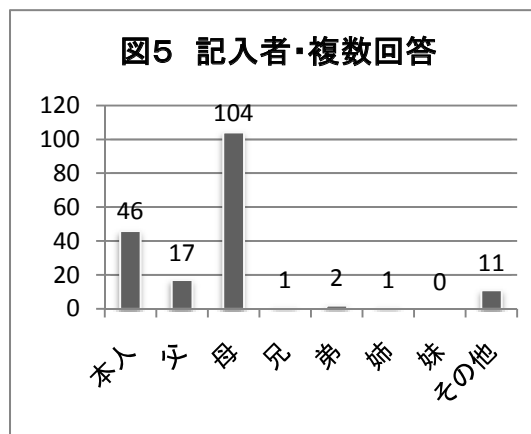
男女別回答数では、21歳の男性17人と24歳女性14人が最も多い回答であった。次に20歳男性15人、22歳女性11人の順となっている。

### 2 性別



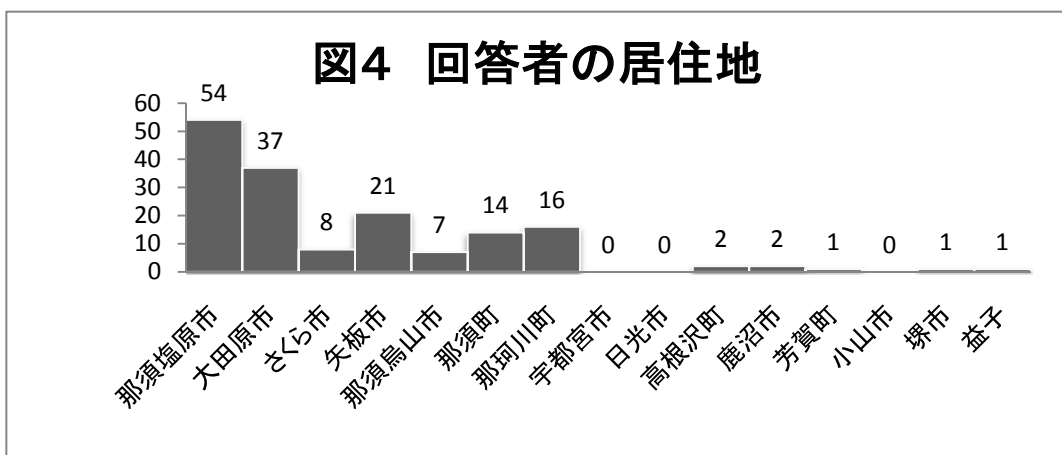
回答者の性別では、「男性」が57%、「女性」は43%である。

### 4 記入者



記入者は、母104人と最も多く、次に本人46人、父17人の順になっている。

### 3 居住地

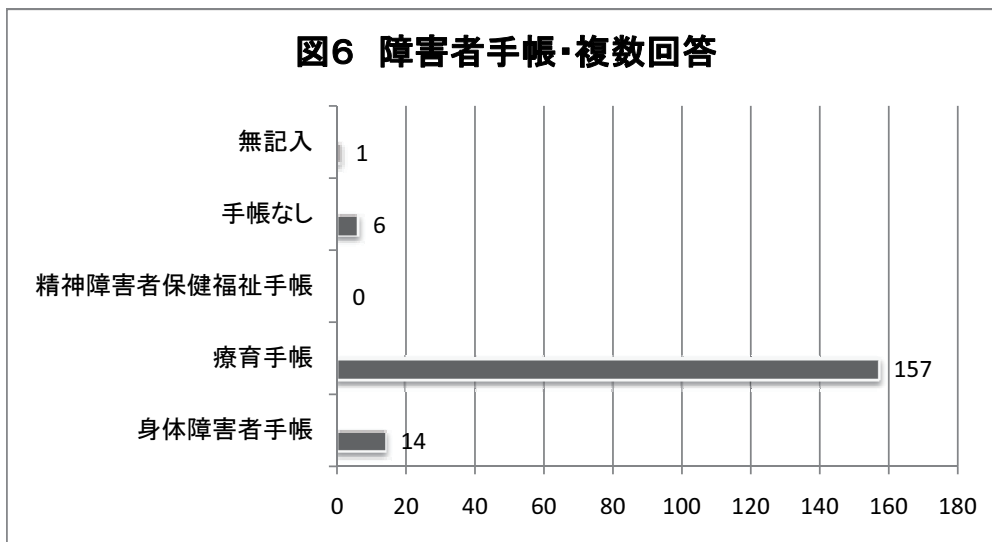


回答者の居住地は、那須塩原市が54人、大田原市37人、矢板市21人、那珂川町16人、那須町14人、那須烏山市7人、さくら市8人、高根沢町、鹿沼市が2人、芳賀町、堺市、益子が1人、であった。

## IV アンケート調査結果

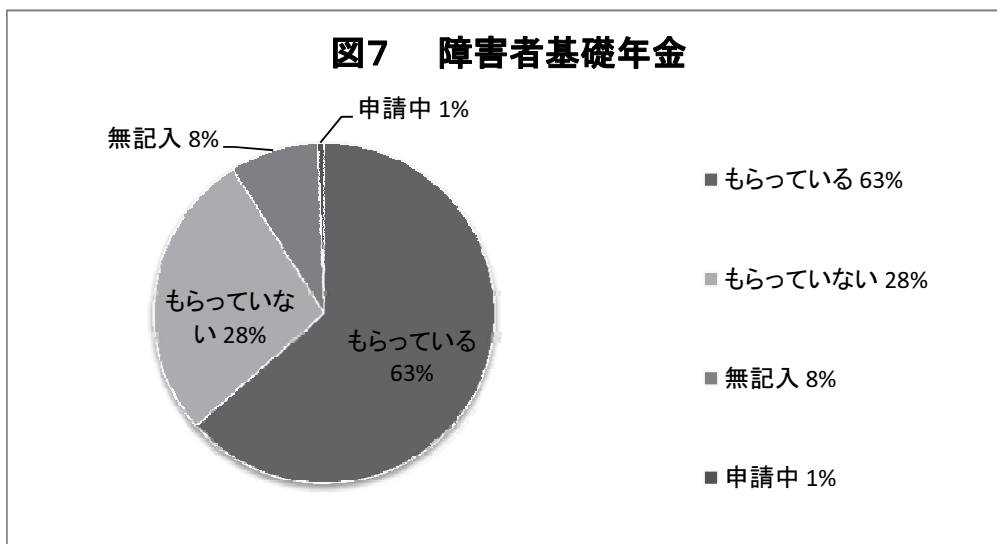
### 【1. 生活について】

#### 1, (1)障害者手帳はお持ちですか。



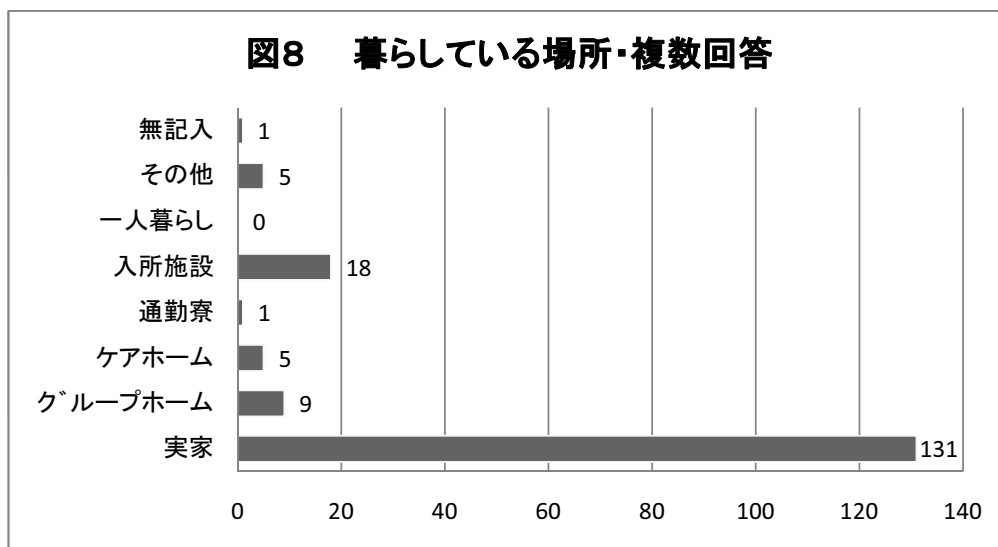
障害者手帳は持っていますか最も多いのが、療育手帳の157人、次に身体障害者手帳14人、手帳なし6人、無記入1人、精神障害者保健福祉手帳0人との回答であった。

#### (2)障害者基礎年金は受給されていますか。



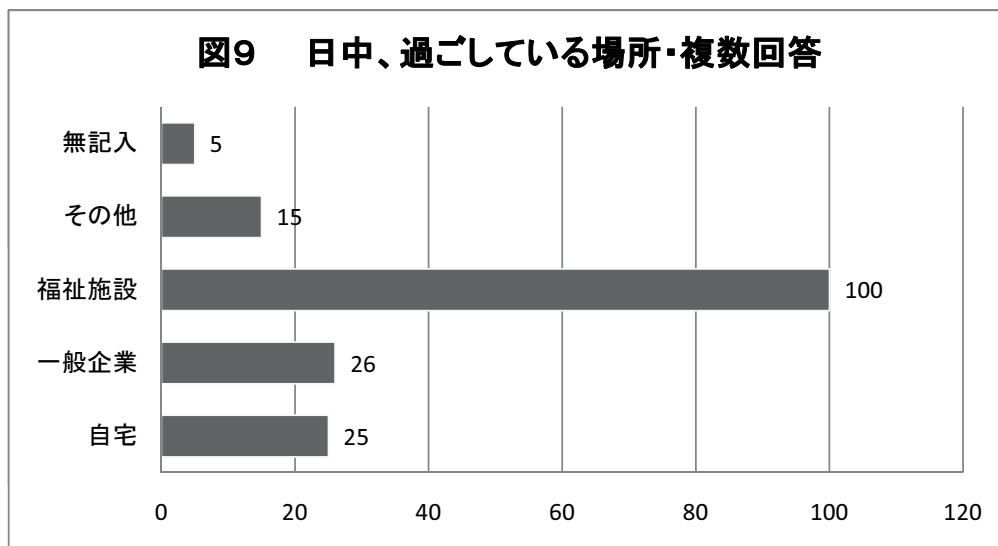
障害者基礎年金（20歳から支給）は受給されているかについて、もらっている63%が半数以上である。また、もらっていない28%(20歳未満の卒業生も含まれる)、無記入8%、申請中1%となっている。

2. 現在、暮らしている場所を教えてください。



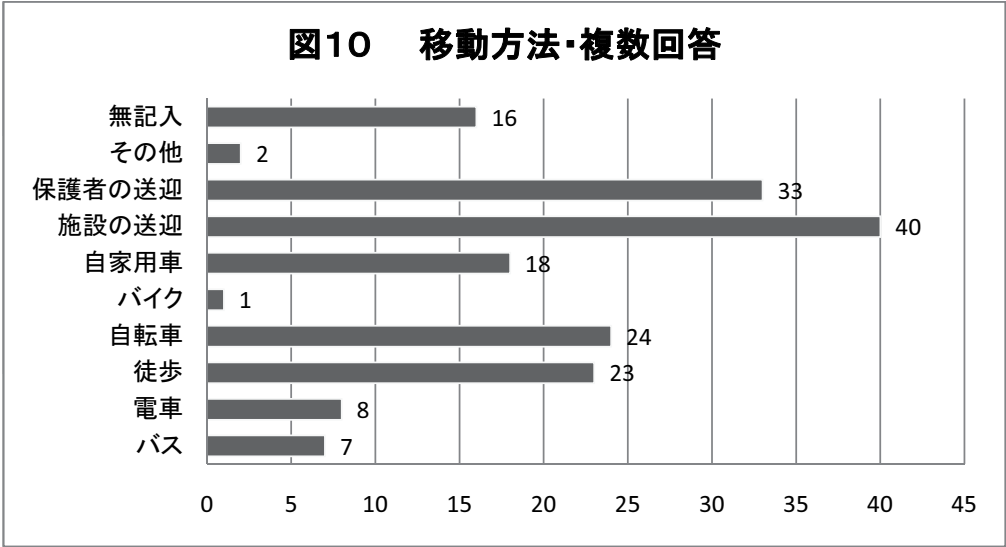
現在、暮らしている場所では、実家が最も多く131人、次に入所施設18人、グループホーム9人、ケアホーム5人、その他5人、通勤寮1人、無記入1人、一人暮らし0人と回答している。

3. (1) 日中、主に過ごしている場所はどこですか？



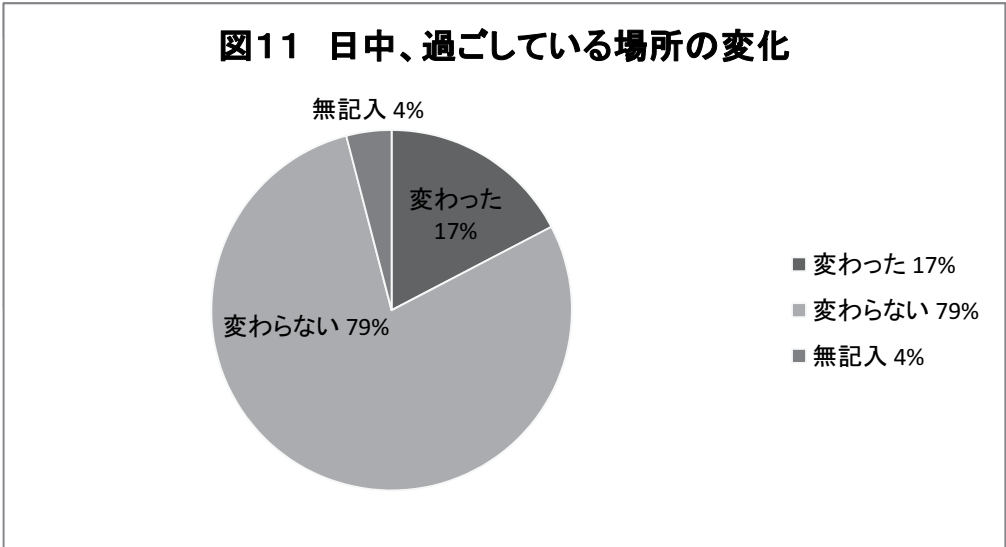
日中、主に過ごしている場所について最も多いのが、福祉施設100人と一番多く、次に一般企業26人、自宅25人、その他15人、無記入5人と回答している。

(2) 暮らしている場所と日中過ごしている場所が違う方は移動方法を教えてください。



移動方法について、施設の送迎が40人、又は保護者の送迎33人と多いことから、施設利用を決める際の要因として、送迎が可能な範囲で決めていると思われる。

(3) 日中、主に過ごしている場所は、卒業した後に変わりましたか？



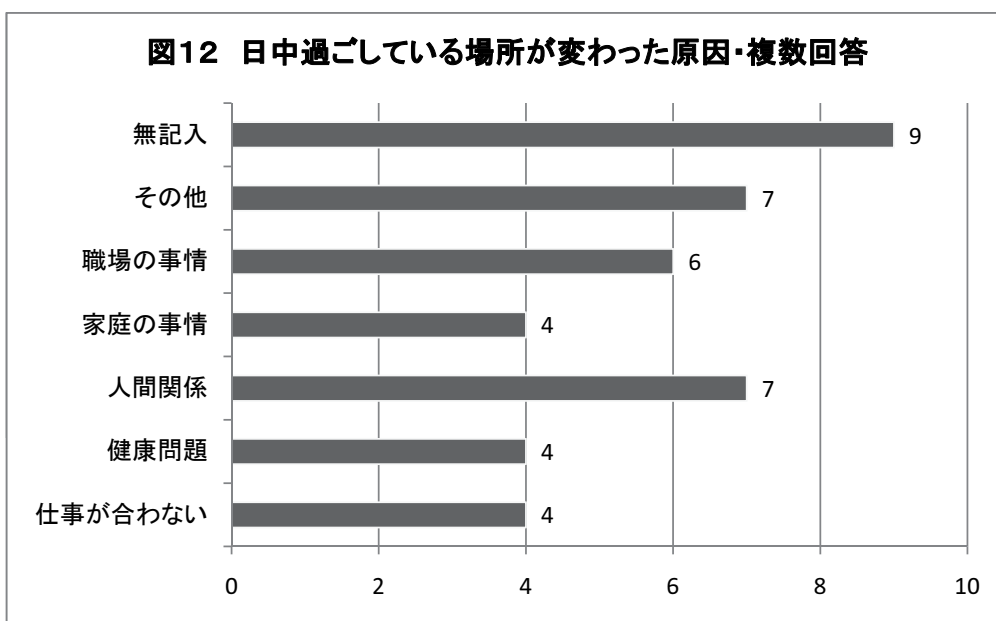
日中の変化について、変わらないが79%と全体の7割を占めている。変わったが17%、無記入4%であった。

① 図11の「変わらない」とお答えになった方で、日中活動している場所の良いところについて。(記述式)

- ・ 家から近い。
- ・ 職場の雰囲気、職場の対応が良い。
- ・ 本人が嫌がらずに、楽しく通っている。
- ・ 送迎サービスがある。

② 図11の「変わった」とお答えになった方で、日中活動している場所が変わった原因となったのはどんな理由かについて。

図12 日中過ごしている場所が変わった原因・複数回答

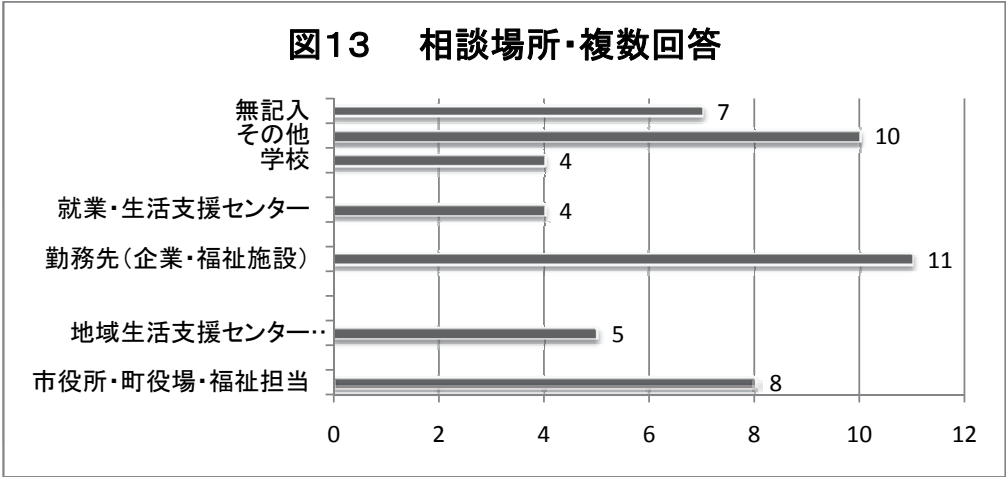


日中過ごしている場所が変わった原因について、無記入9人、人間関係、その他が7人、職場の事情6人、家庭の事情、健康問題、仕事が合わないがそれぞれ4人と回答している。

③ 「変わった」とお答えになった方、通う場所が変わった時に困ったのはどんなことですか？(記述式)

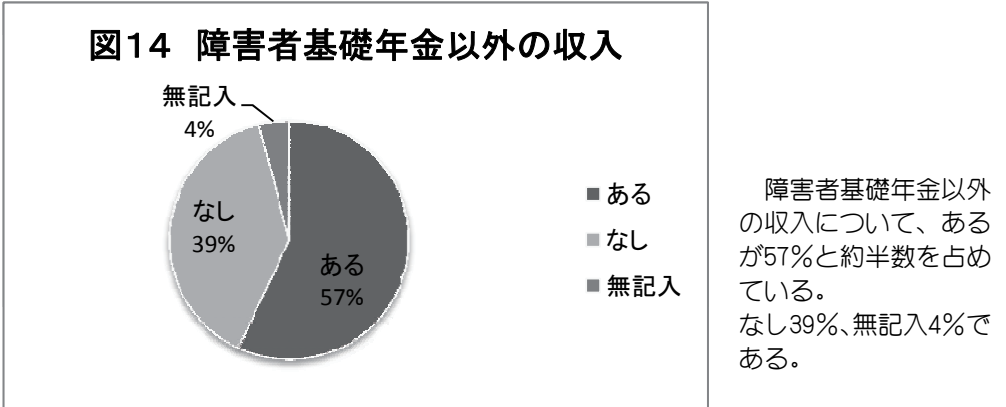
- ・ 仕事場への交通手段がなく、通勤が難しい。
- ・ 人間関係などで情緒が不安定になってしまった。
- ・ 医師、看護師不在のため医療行為ができない。
- ・ 学校と職場での環境の違いに対応できなかった。

④通う場所が変わった時はどこ(誰)に相談しましたか？

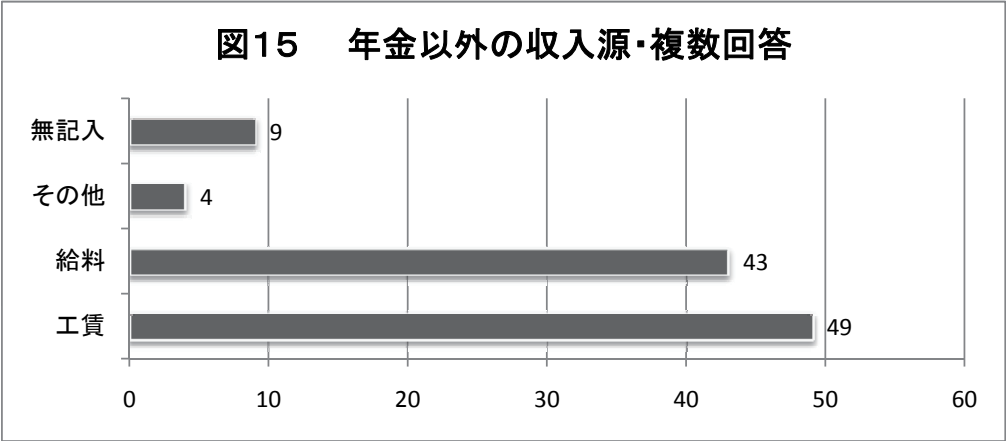


勤務先（企業・福祉施設）が11人と最も多く、次にその他10人、市役所・町役場・福祉担当8人、地域生活センター5人、学校、就業・生活支援センターが4人と回答している。

4. 障害者基礎年金以外の収入の有無について



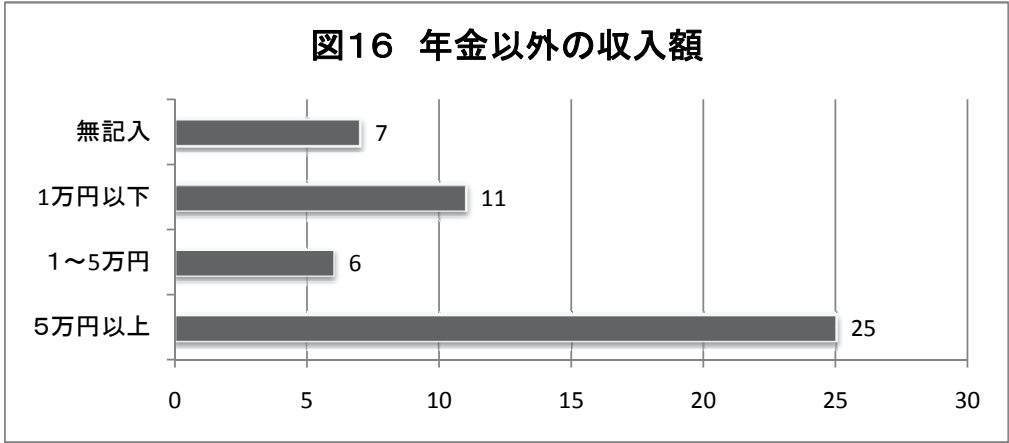
(1) 図14の「ある」と答えた方は、どのような収入ですか？



年金以外の収入源について、工賃49人、給料43人、無記入9人、その他4人との回答であった。

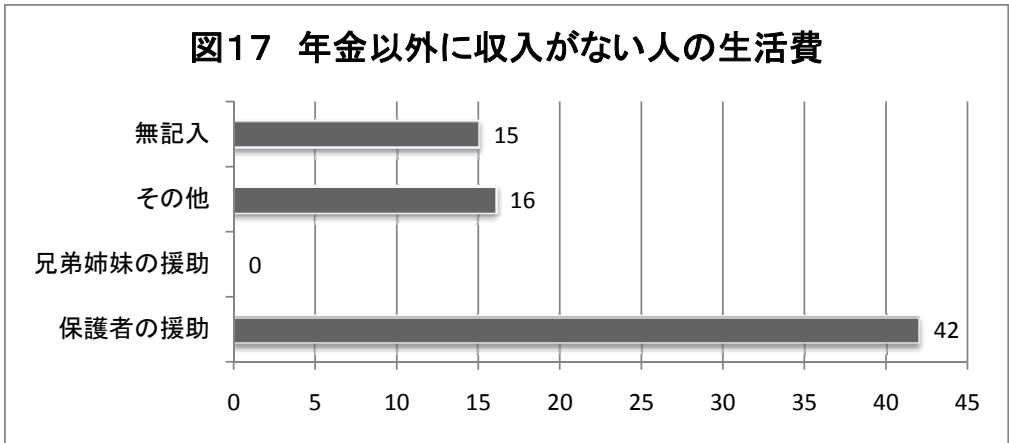
\* 回答から推察して、給料と工賃の区別が難しいケースがあった。

(2) 図14の「ある」と答えた方は、1か月にどのくらいの収入がありますか？



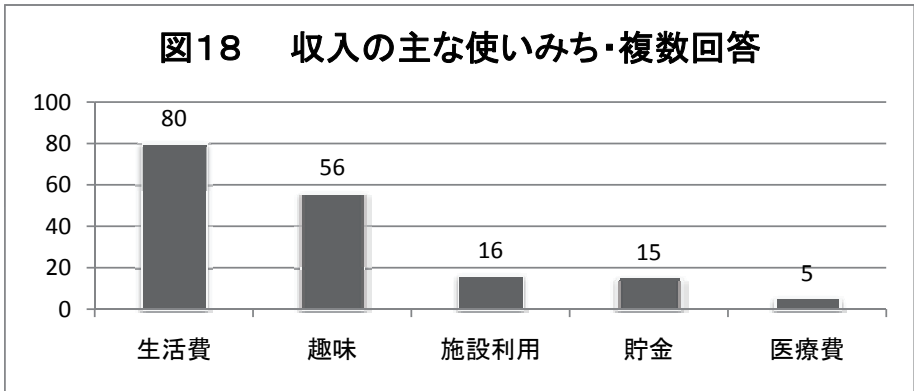
1か月の収入について、5万円以上25人が最も多く、次に、1万円以下、1~5万円、無記入7人との回答であった。

(3) 図14の「なし」と答えた方は、主な生活費はどうしていますか？



主な生活費について、保護者の援助42人と最も多く、次にその他16人、無記入15人、兄弟姉妹の援助0人となっている。

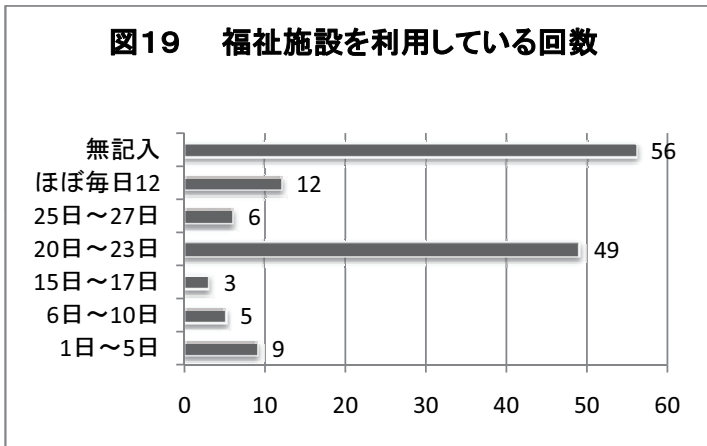
(4) 図15の収入の、使いみちについて



収入の使いみちについて、生活費80人が最も多く、次に趣味56人、施設利用料16人、貯金15人、医療費5人との回答であった。



5. (1)福祉施設を利用している方は、月に何回ぐらい利用していますか？

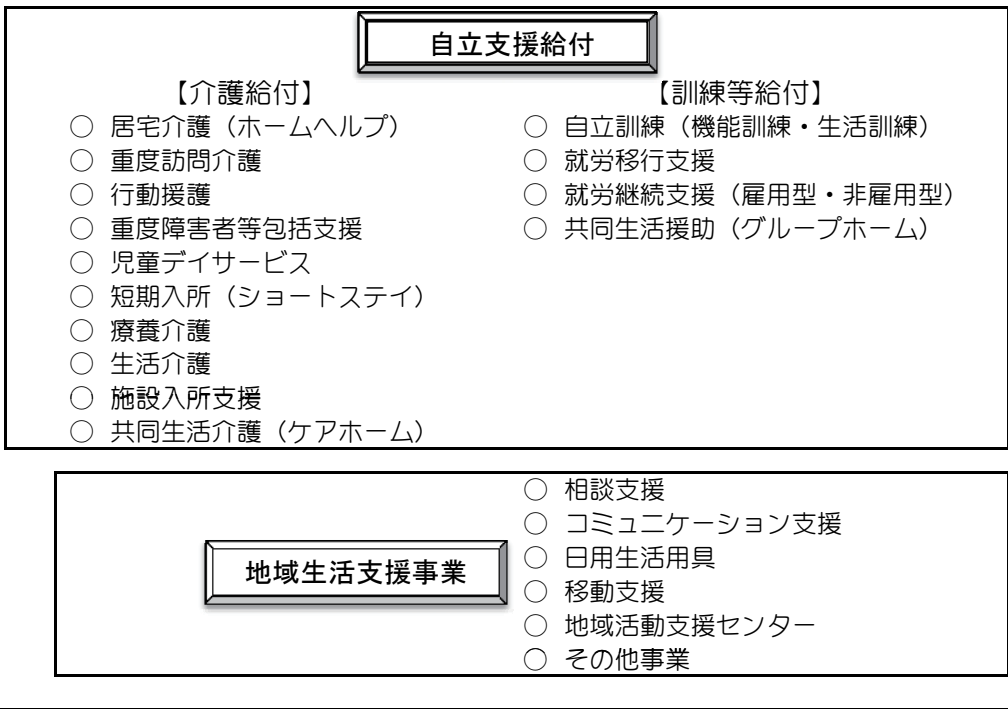


福祉施設の利用は、月に何回ぐらい利用しているかについて、20～23日が49人と最も多く、次にほぼ毎日12人となっている。

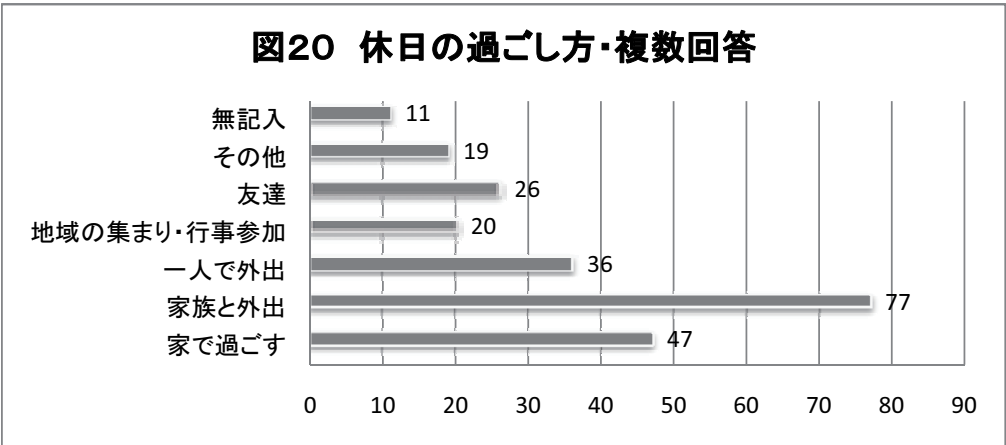
(2)利用しているサービス内容と利用料について(月額)－{記述式}

<p>【介護給付】(負担額)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1万円以下 1人</li> <li>・ 1万円～2万円 1人</li> <li>・ 2万円～3万円 1人</li> <li>・ 10万円 1人</li> <li>・ 23万円 1人</li> </ul>	<p>【地域生活支援】(負担額)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1万円以下 8人</li> <li>・ 1万円～2万円 3人</li> <li>・ 2万円以上 1人</li> </ul>
<p>【訓練等給付】(工賃)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1万円以下 25人</li> <li>・ 1万円～5万円 15人</li> </ul>	<p>【訓練等給付】(負担額)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1万円以下 24人</li> <li>・ 1万円～2万円 2人</li> <li>・ 3万円 1人</li> </ul>

参照 障害者福祉サービスの体系

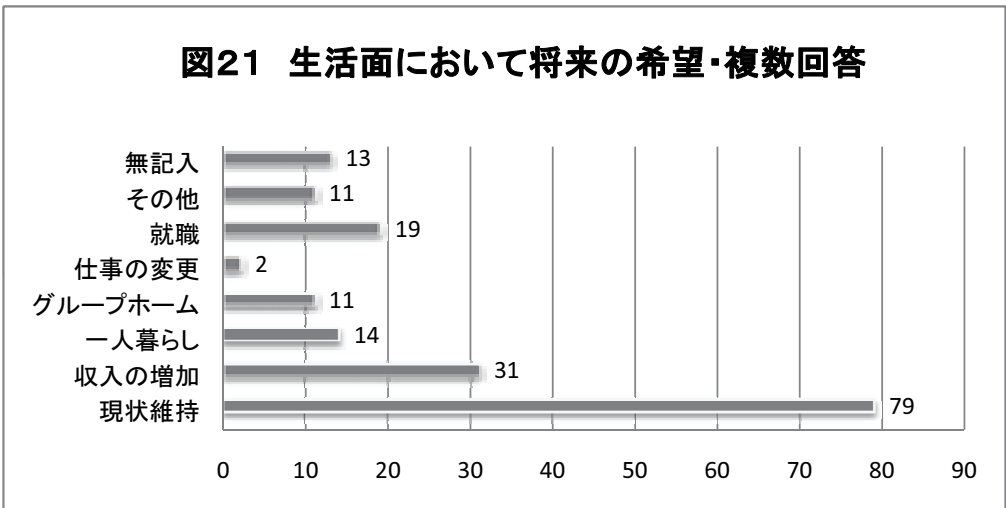


6. 休日は、どんなことをしていますか？



休日の過ごし方（複数回答可）について、家族で外出が最も多く、次に家で過ごす、一人で外出と回答した者のほとんどは、周囲から孤立しているかのような感じを受ける。余暇支援の在り方に検討の余地があるかもしれない。

7. 生活面において、将来の希望はありますか？



生活面において将来の希望はあるかについて、現状維持への回答が79人と最も多いが、自由記載では、将来の親亡き後への不安を訴える声が何件もあった。

【II 学校について】

1. 進路はどのようにして決めましたか？

- ・学校の指導のもと（先生と相談、職場体験、現場実習）
- ・保護者 } が探した
- ・本人 }
- ・ハローワーク
- ・福祉課に相談
- ・施設と相談
- ・合同説明会



1. の質問で、方法ではなく何を主に考えて選んだとの回答について

- 学校で在学中に体験のある作業をしている所
- 通所可能な所（自主通、保護者送迎）
- 本人の負担の少ない所、個性を考えてくれる所
- 施設の運営方針や雰囲気を見て
- 集団生活が苦手→自営業手伝い

2. 卒業してから、学校生活で役に立ったことはどんなことですか？

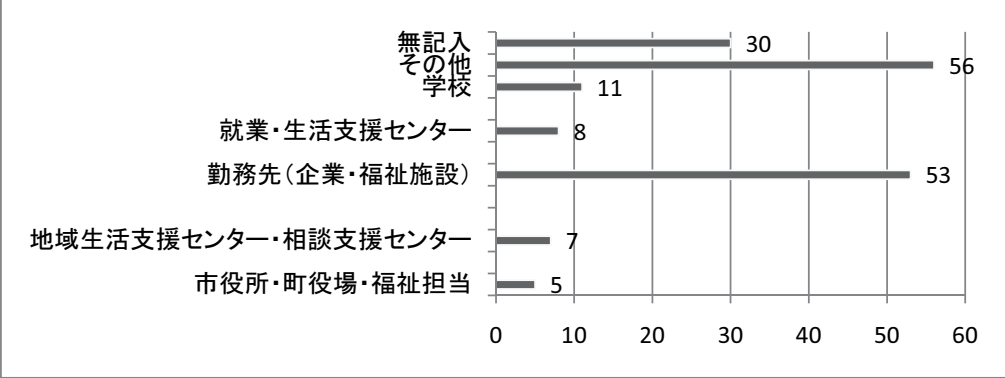
- 人との対応（言葉使い、あいさつ、友達との関わり）
- 実習（働くことを学んで）
- 規律（時間、約束事、生活リズム）
- 運動
- 身辺自立
- 自主通学
- 行事（学校祭、運動会、マラソン大会、ユニホック大会、  
修学旅行、宿泊学習、校外学習）
- 調理実習
- 寄宿舍生活
- 作業
- 交通安全
- 運転免許の勉強
- 自立につながる必要な体験や学習が役立った。
- カレンダーの見方を学んだ

3. 今、振り返って、在学中にしてほしかったこと、知りたかったことはありますか？

- 調理実習……収穫体験
- 情報（進路、療育方法etc）
- 交流学习（ボランティア活動）
- 英語、勉強、パソコン学習、音楽
- 運動
- 人との接し方（友達をつくる、コミュニケーションの方法）
- 職場見学
- 先生と保護者同士の繋がり
- 生活訓練→何日か続けて体験させたい  
→宿泊学習の回数増加
- 金銭感覚
- 作業時間を増やす
- 理学、作業療法
- 公共施設利用の仕方（交通機関etc）
- 免許取得
- 個別指導
- 卒業前に保護者向けに年金等の話をしてほしかった。

4, (1) 卒業後に困ったことが起きた場合は誰に相談しますか？

図22 卒業後困ったことが起きた場合の相談場所・複数回答



卒業後に困ったことが起きた場合の相談場所について、その他56人、勤務先（企業・福祉施設）53人、無記入30人、学校11人、就業・生活支援センター8人、地域生活センター・相談支援センター7人、市役所・町役場・福祉担当5人であった。

(2) 困ったことが起きた時に、どんな支援がほしいですか？

- 市役所
- 地域生活支援センター
- 相談支援センター



- ・トータルなサービス、サービス手続きの簡素化
- ・スピーディな対応
- ・後見人制度の情報
- ・専門性を持ったヘルパー、機関がほしい。
- ・日中過ごせる場所（職を失った時や緊急時、病気の時など）

- 福祉、勤務先



- ・生活面、精神面で支えてほしい（安心した生活のサポート）
- ・グループホームの体験入居
- ・病院へのつきそい
- ・地域と連携した支援
- ・ジョブコーチ
- ・最低賃金の保障

5, その他の要望について

- ・福祉サービスの充実
- ・就労、福祉施設等の情報提供と情報収集
- ・在学中からPTA活動や親の会を通して保護者間の交流、情報交換
- ・将来自立のためのグループホーム、ケアホーム等の地域環境の整備
- ・卒業後も相談できる学校であってほしい

## V 県北地域育成会・保護者会との懇談会

開催日時 平成22年9月9日(木) 参加者20名

矢板市育成会	那須町障がい者親の会
矢板市障害を持つ子の親の会・もくばの会	那須町障がい者の明るい未来を拓く会
大田原市身障児(者)保護者会	那須塩原市心身障害児者父母の会
大田原障害児者と親の会・ひよこの会	栃木県立那須特別支援学校PTA
黒羽障害児者と親の会・ゆずの会	



### ○ 今回の懇談会を開催した理由

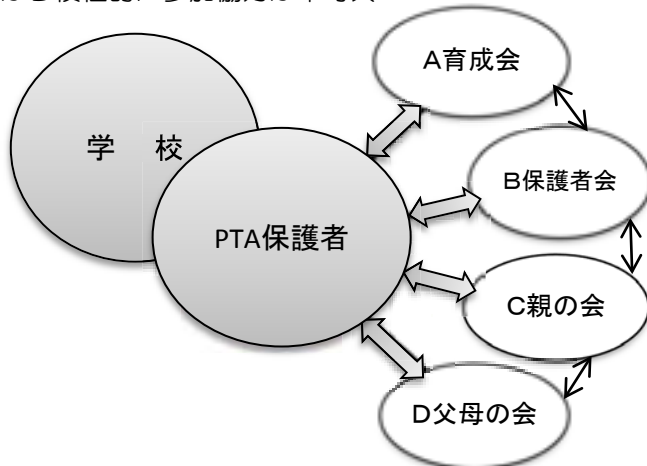
卒業生の保護者の方から、現在の状況や悩みをお聞きしたいと思いました。  
 なぜなら、学校を卒業してしまうと、保護者同士の繋がりが少なくなってしまう、不安や悩みをどこに向けてよいかわからないという話を聞いたからです。学校に在籍している間は、まだ理解、協力してくれる仲間や先生がいます。しかし卒業後はこの繋がりが少なくなってしまう。  
 現在県北の各団体(育成会、保護者会等)は、個々の活動のみで横の繋がりがやPTAとの繋がりがありません。在学中のPTA活動や手をつなぐ親の会の活動が、そのまま卒業後の地域との繋がりに移行できる方法を考えたいと思いました。

### ○ 卒業生の保護者の皆さんから在学中どのような支援や学習が役立っているのか意見をお聞きしたい。

- |                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>① 学校生活(学習)で社会人になって役に立ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 寄宿舎生活</li> <li>・ 校内実習</li> <li>・ 産業現場等における実習</li> <li>・ 居住地校交流</li> <li>・ 日常生活の自立(買い物学習など)</li> </ul> | <p>② 学校生活(学習)でもっと力を注いで欲しかったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の意思をきちんと伝達できる力<br/>(わかりません・終わりました・トイレに行きたいです)<br/>(お弁当を頼みたいです・あいさつや返事など)</li> <li>・ 持続力や集中力</li> <li>・ 黙って座りながらの作業を続けられる</li> <li>・ 臨機応変さ</li> <li>・ 電卓をつかうことができたり、文字を読んだりすることができる</li> <li>・ 楽しいことだけでなく厳しさも必要</li> </ul> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### ○ 学校と地域の保護者が今後どのように連携をとっていけばよいのか

- ・ PTA保護者の側から積極的に参加協力が不可欠



お互いに声をかけあい輪を広げていきましょう！！

### ○ 参加者の意見・感想

- ・ 今後も年に数回集まり、皆さんで意見交換会を実施したい。
- ・ 父親も積極的に参加してほしい。
- ・ 各地域で活動している内容について詳しく知ることができて良かった。
- ・ 地域に密着して活動していくことが今後の課題だと思った。
- ・ 学校を卒業、就職が終わりではない。「学校から離れた人生のほうがずっと長い」ということを痛感した。

## VI 本校卒業生を担任した教員と役員との懇談会

開催日時 平成22年12月3日(金)  
教員7名、保護者11名



### ○ 卒業後3年間の学校での支援について

- |                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業後3年間の学校での支援は、どのようなことを行うのか</li> <li>・進路指導部で対応するのか</li> <li>・担任は、新学期であったり、学部が変わったり等で負担にならないか</li> <li>・負担になっている点、良かったと思っている点は</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手先に様子を伺い、時には教員の職場体験先とし、その中で、在学中の支援や関わり方について連絡を取り合う。家庭にも連絡し生活リズム、精神の状態について確認をする。環境の変化に伴い落ち着かない様子もあるので1年目は多めに、少しずつ減らし支援を相手先と家庭へ移行していく。</li> <li>・担任(又は副担任)から連絡する。産業現場等における実習の際も様子を見る。</li> <li>・新学級の把握他忙しい面もある。</li> <li>・負担にならないという嘘になるが、学校が頼りにされるのは嬉しい、どこにも相談しないより良い。</li> </ul> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### ○ 卒業後の指導計画について

- |                                                                                                                                    |                                                                                                                                         |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業後の個別指導計画は、どのようなになっているのか</li> <li>・在学中にさかのぼっての話も可か</li> <li>・何歳までを見越して計画を立てるのか</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・移行支援計画として作成。事業所等との話合いで活用し保管もしている。</li> <li>・3年先を見越して計画を作成。福祉施設は学校の計画をいかして支援計画を立てている。</li> </ul> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### ○ 卒業後の就職支援について

- |                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職したが挫折してしまった場合、相談にのってもらえるか</li> <li>・相談支援センターに寄せられる事項は、重篤なケースがある。その前に相談に持っていきたい、学校は窓口になってくれるのか。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談にのれる。築いてきた関係があるので相談しやすいと思う。</li> <li>・重篤になる前に、通い慣れている学校に相談してもらえれば、早く対応できる。</li> <li>・就業・生活支援センター等相談機関に繋げていく。</li> </ul> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### ○ 卒業後スムーズに過ごしている事例、そうでない事例について

- |                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業後スムーズに移行出来ない事例について(同じ子が離職を繰り返す場合、環境要因はあるか)</li> <li>・卒業後スムーズに過ごしている事例について</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・正直あると思う。社会生活上家庭の支える力は大きい。悩みを家庭で処理できるか、自立できるよう生徒に教えるかが大切。家庭が無理なら就業・生活支援センターと連携する。金銭トラブル、生活トラブルもある。</li> <li>・人間教育の大切さである。うまくいく子は、相手の言う事を素直にきける。実習の面接で「こんにちは」の一言で印象をよくして、実習を決め、その後就職していた先輩もいる。</li> <li>・笑顔、挨拶は大切。コミュニケーションの始まりかと思う。ひとつアピールが出来る点のある子は強い。敬語がつかえるとさらに良い。</li> </ul> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### ○ 卒業していく生徒と家族にむけて

- |                                                                                                                                                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ではより少ない支援でできるよう、社会ルール、協調性を発達段階に応じて教えていく。</li> <li>・経験を積んでいく、失敗してもいい。将来に希望を持って欲しい。</li> <li>・卒業はゴールではない、進路指導とは、将来豊かに幸せに生活していけるかを一緒に、繰り返し考えていくこと。</li> </ul> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## VII 参加した役員の意見

### ～子供の将来の為に今親として出来ること～

まずは、このような機会を頂いたことを感謝したいと思います。

アンケート、卒業生の保護者との懇談、先生との懇談をもとに、作成にあたって多くの事が話し合われました。この経過の中に、もっと多くの保護者の方に参加して頂ければ、学べること、思う事が一人一人あったのではと、残念でもあります。

親の責任は、勿論ではありますが人と人を繋げることが一番必要で、地域へ社会へと、どのように学校から移行させるか。

P T Aを多いに活用して欲しいと思います。

誰かと繋がれば、情報も入る、悩みも話せる。自分だけでないこと、解決の糸口が見つかるかもしれない…とは言っても簡単ではありません。人との関わりが苦手な人は、障害児の親となったからといって、得意になるわけではありません。学校、地域、生きる全ての場所にどんな些細な悩みも、よまいごとも、こぼせる所が点在していれば…と思います。

今、私達がすぐできること…

在学中に地域の情報（保護者会、育成会、福祉）を幾度にもわたって伝え又顔見知りになれるようにする…ことは可能ではないでしょうか。

高等部3年保護者

卒業後の子供の在り方を考える時に、自分が先に亡くなることがまず大きな課題です。

障害があろうとなかろうと子供は社会に返すこと、その時に子供がなるべく混乱しないで支援者とうまく関われること、が最終目標です。

はじめに障害の告知を受けた時、お母さんのフォロー（子供への影響）が大切。

初めのフォローが上手く出来ると母親が将来支援の使い方もよく出来るようになる。

反対の場合は周りへの不信感をつのらせる。

なるべく早く家庭の機能を十分に回復させること。

親がしっかり子供を受け止めてあげられれば、少々外で嫌なことがあっても乗り越えられると思う。

子供を取り巻く 家庭、学校、の機能がきちんと働く必要がある。それぞれの役割を過不足なく働かせること。

子供によく生きてもらいたいと思うなら、親がまずよく生きる努力をすること。

子供が成人して社会に返す為にグループホーム、ケアホームが必要である。

自助グループ等、公的機関の他にも私的にネットワークを広げて情報等集める努力をすること。支援者と協力しあえる関係を作る努力。

高等部2年保護者

子供が将来たくさんの人にお世話になると思うので、コミュニケーションできるようにしたいです。障害者に対する法律が色々変わったりするので、情報を集め、親同士の繋がりを作っていきたいと思います。

高等部1年保護者

(自分の子に対して)

・まず自分の子供の障害と向き合い受け入れることが何よりも大切であり、障害も様々で、大変なことも多いが、親が一人の人間として、子どもを育てていこうとする気持ちを常に持ち続けることが必要になってくと思う。親も大人として自立することが大切だと思う。

・子どもの年齢に応じて、できることを探り、家庭でできることを少しずつ増やしていくよう、得意なもの、苦手なものを確認する。苦手なものに対しては、子どもの様子をみながら、体験してみる機会を作ったり、生活の中に取り入れたりしながら、徐々に克服できる方向性をみつけていくようにする。

・家族の連携、絆の中で、子どもは成長する部分が大きいので、話し合いをしたり、他の兄弟、姉妹の理解を得て生活できるように努める。

(他との関わり)

・自分の子どもが利用できる支援は率先して受けてみると、その中で人との繋がりができたり、障害の軽減に繋がることもあると思う。

・親より子の方が長く生活していく場所として地域との繋がりを持つことは、親子共々の支援にも繋がるので、できる限り行事に参加してみたり、話をして理解者を増やしていくことが、生活をしやすい、居場所を作ることになると思う。

・学校在学中は、他のお子さんの親と共通の悩みを持っていたり、自分とは別の考えだったり、交流する場が多いので、情報収集がしやすく、活用することに努めることで、視野も考えも広がり、その後の生活に活かせると思う。

(PTAとして)

支援学校は、様々な障害、いろいろな考えのPTA会員がいるが、親が、学校、担任との繋がりを深めることが、子供がいろいろな壁にあたった時に、手をつないで解決に向けて動けることも多いと思うので、普段から行事、研修等には参加していきたいと思う。

小学部5年保護者

子供の将来は、どうなっているのだろうと、そう遠くない未来を考える時、現在までの親としての在り方はどうだったのだろう。

現在高校生の息子は、学校への登下校は、自転車でを行っています。雨の中送り出す時、「お母さんが送ってあげるよ」と言いそうになりますが、グッとこらえています。今の優しさが息子の中で変換して、甘えになってはいけないと思っているからです。こういった状況は、普段の生活の中でもあり、判断に悩む時があります。そんな時は、やはり学校の先生に相談しています。

第三者の協力を素直に求められる自分達でありたいと思います。

現在の課題は、施設を上手に利用していける事です。それが、親がいなくても息子が上手に生きていく方法であると思います。

高等部1年保護者



我が子に障害があるとわかった時、将来に不安を感じました。不安な気持ちは子供に伝わるもので、親はイライラ、子供はパニック状態と、家庭は迷走するばかりでした。

小学部に入学してから、障害児を理解し、熱心に指導して下さる学校への信頼感と、同じ悩みを相談しあえる保護者と出会えて、子供に優しく接するようになれました。心に余裕を持てるようになったので、子供が伸び伸びと成長してくれたのかなと思っています。

在学中は、沢山の方々にいろいろな面で支援されていますが、卒業後に孤立無援にならないように、育成会等、地域との繋がりを連携していけるよう努力していきたいです。 高等部 1 年保護者

今回調査研究に参加させていただいて、卒業生の「今」を少しだけ知る事ができました。

自立できる人は少数で、多くの人は親などの援助のもとに生活が成り立っているのが現状のようです。決して明るい状況ばかりではありません。

正直なところ子供の将来の為に何ができるのかまだよくわかりません。ただ今回の調査研究の中で私自身が勉強不足で知らない事が多かったことに気づかされました。自分は小学部の子供の親ですが、将来は先の事ではないのだ、のんびりしているとあっという間に卒業を迎えてしまうのだと強く感じました。子供の少しでも明るい未来の為に、親も子供の成長を見守りながら、一緒に学んで成長していく事が大事なのだと思いました。 小学部 3 年保護者

子供の将来のことを考えると、大人になっても身の回りのことをするのに人の手を借りなければならぬのかな…などと、ついつい暗い気持ちになってしまいます。目の前の事に一喜一憂するうちにいつの間にか過ぎていく毎日なのですが、今回、先輩の保護者の方々の話を聞く機会を得て、将来のことについていろいろ考えたことは、とても良かったと思います。

こういうことができるといいねという話がいくつか出た中で、特に印象に残ったことが2つありました。ひとつは「自分で選ぶ力」です。食べることには関心があるので選べるのですが、それ以外のことになると、どちらでもいいのか、何なのか「どちらにする？」と聞いても？の顔で固まっていることが多いです。それならば私が選ぶか、最初から尋ねることなく決めてしまうことも…。でもそれだと、いつまでも自分で選ぶということを理解できないのだなあと思いました。将来、自分の好きな洋服を選んで着るとか、買い物をするなどの楽しみがもてるといいなあと思います。

2つめは、「NO」を言えることです。できるならば、いつも笑顔で心穏やかでいてほしいのが願いですが、そういうわけにはいかないのと、とても大切なことだと思いました。

ふり返れば、小さかった頃はいろいろ働きかけてもさっぱり反応がなくて困りはてていたのが、このところようやく自分の意志をみせてくれるようになってきました。やっとここまでになったと嬉しく思う一方で、何を考えているのかわからず、もどかしい思いをすることもよくあります。言葉で表現することが難しくても、自分の思いを人に伝えることができるように、今できることは何なのか考えていきたいと思っています。 小学部 2 年保護者

育成会の保護者の方々や卒業生を送り出した先生方との懇談会に出席させていただいて、強く感じた事は、PTA活動や育成会活動を通して情報を収集し、ネットワークを作る事の大切さです。

また、日常生活では、規則正しい生活をして、素直に表現できる力を身に付けて、元気に挨拶できる事が、就労だけでなく、すべての場面で大切で、それは、ハンディがあってもなくても、言葉があってもなくても、小さい頃から、繰り返し、繰り返し積み重ねて経験する事だと思いました。

中学部1年保護者

子供の将来の為に今親としてできることは、自立できるように、療育に力を入れる。色々な体験をさせる。沢山のひとと触れ合わせる。施設などの勉強をする。障害者を採用している企業のことを調べることだと思います。保護者もまた、人との繋がりを大切に仲間作りをすることです。

今回、追跡調査冊子作成を担当させていただきました。重大な役割、責任の重さに戸惑いもあり、忙しく大変なこともありましたが、役員の方々の思い、先輩方の強い思いや願いを強く感じ、「このことを皆さんに伝えたい」という思いから、このような素晴らしい冊子ができあがりました。

先生方や役員の皆様との冊子作りで、普段出来ない良い経験が出来たと思います。

小学部4年保護者

## おわりに

今回の調査研究事業にあたり、多くの卒業生や先輩保護者の皆さん、先生方より沢山の情報をいただきました。

卒業生からは、在校生への励ましの言葉や学校への感謝の思いが寄せられ、学校時代が皆さんの中で、今もとても大切なものだという事を感じました。

保護者の皆さんは、この10年間で福祉制度は大きく変わり、戸惑われながらもしっかりとお子さん達を支えていらっしゃる事がわかりました。しかし、アンケートの中で、思い悩んでいる事も伝わってきました。

先生方からは、貴重なご意見や個人情報を取扱うにあたり、多大なご協力をいただきました。

「充実した学校生活」「地域との繋がり」「余暇支援」「家族力」など私たちが取り組まなければならない課題がうかんできました。

これからのPTAは、子供たちの今と将来の充実を皆で考えて活動していける場でありたいと強く思います。

最後に、この事業に関わってくださった多くの方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

PTA会長 和久 千夏子

# **ボランティア養成講座 「トライアングルクラブ」の実践**

石川県立いしかわ特別支援学校PTA

# 目次

はじめに	・・・	1
1 本校の概要	・・・	2
2 いしかわ特別支援学校PTAの取り組み	・・・	3
3 ボランティア養成講座「トライアングルクラブ」の概要		
◆ 事業目的	・・・	5
◆ この活動のはじまり	・・・	5
◆ ボランティア登録依頼	・・・	5
◆ 活動内容	・・・	6
◆ 平成22年度事業計画	・・・	6
4 活動の流れ		
◆ 全体図	・・・	7
◆ 全体図の①～⑨について		
① ボランティア募集活動	・・・	8
② PTA役員、教育活動支援委員のお手伝いローテーションを決める	・・・	9
③ 保険加入手続きと看護師さんへお願い	・・・	9
④ 人数集約・ペア決め	・・・	9
⑤ 事前打ち合わせ		
・フェイスシートの作成	・・・	9
・役割分担	・・・	11
・進行表	・・・	13
⑥ 事前準備	・・・	13
⑦ 当日	・・・	13
⑧ お礼の手紙・写真送付・アンケート	・・・	13
⑨ 反省会	・・・	13
5 活動報告		
① 第1回 名刺作り	・・・	14
② 第2回 風船バレー	・・・	17
③ 第3回 ポッチャ&ぷち運動会	・・・	21
④ 第4回 ミュージック・ケア&音楽会	・・・	30
⑤ 第5回 防犯講座&警察音楽隊	・・・	36
⑥ 第6回 おたのしみ茶話会	・・・	38
おわりに	・・・	40

# はじめに

石川県立いしかわ特別支援学校  
P T A 会 長 表 守 活

平成 18 年度から今日まで、「ボランティア養成講座 トライアングルクラブ」の活動が継続できた事を心から感謝しております。18 年度開校当時は、肢体不自由教育部門のみの学校でありましたが、20 年度に知的障害教育部門が開校し肢知併置の特別支援学校となりました。障害種別を超えての活動にも変わらぬご理解とご協力を頂けた事はたいへん有難いことです。

ボランティアさんは、障害のある子どもたちと、障害のある子どもたちを知らない人たちとの間に立ってくれる大切な存在です。毎回毎回参加して下さったボランティアのみなさん、保護者のみなさん、役員のみなさん、先生方、多くの皆さんに支えられ、活動を継続することが出来ました。改めて感謝申し上げますと共に、この活動が地域へ影響し、子どもたちの心豊かな社会生活へと繋がっていく事を心から願っております。



## 1 本校の概要

本校は、平成 18 年 4 月に石川県立総合養護学校として肢体不自由教育部門が開設し、その後、平成 20 年 4 月に知的障害教育部門の開設に伴い、本県初の知肢併置の特別支援学校として全面開校した。また、平成 22 年度からは校名が石川県立いしかわ特別支援学校となった。開校以前は、肢体不自由児が通っていた特別支援学校の老朽化や金沢市南部の知的障害教育校の児童生徒数の増大などが課題としてあげられ、本校の設置は、金沢北部地域の保護者にとって待ち望んでいたものであった。

本校は、石川県中心部の金沢市南森本町に位置する。児童生徒数は 328 名（平成 22 年 5 月 1 日現在）で、学級数は 90 学級と石川県一規模が大きい特別支援学校である。各部門、学部の内訳は下記表の通りである。平成 20 年全面開校当時の児童生徒数は 228 名、21 年度は 248 名、そして今年度は 328 名と増加しつづけており、教室不足が深刻化している。

部門 \ 学部	小学部	中学部	高等部	合計(人)
肢体不自由教育部門	70	34	52	156
知的障害教育部門	51	40	81	172

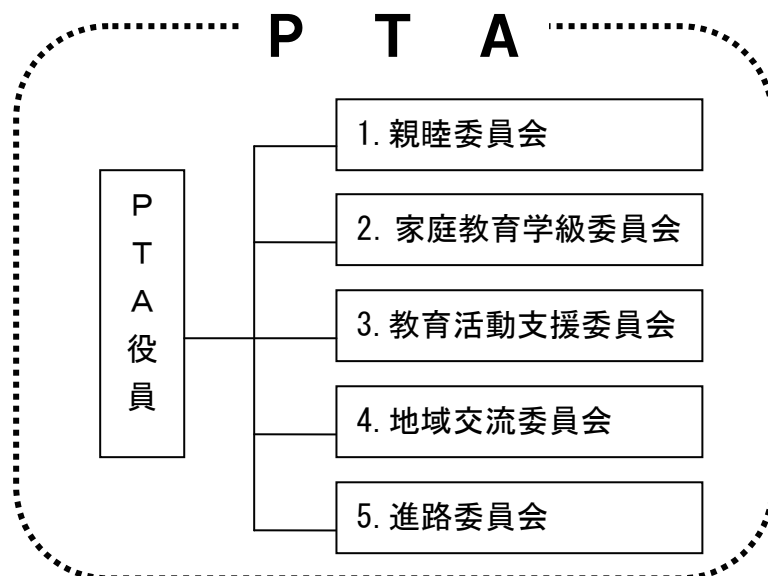
本校は敷地面積 52,156 平方メートルの広い敷地の中に立っている。施設の特徴としては、エレベーター、スロープ、手すりを設置した完全バリアフリーであること、また、ゆとりのある 3.5m 幅の廊下、室内温水プール、大型キャノピー、トイレを併置した普通教室など、安心・安全に配慮している。また、大体育館、グラウンド等を地域や県民に開放すると共に、障がいのある人に対しては生涯学習の場として、施設・設備の一部を開放している。隣接する金沢こども医療福祉センターとは、2 階の連絡通路でつなぎ入園児童生徒やリハビリ訓練の必要な児童生徒が学校と施設との行き来がしやすいように配慮されている。

## 2 いしかわ特別支援学校PTAの取り組み

### ◆本校PTAについて

本校では本校の児童生徒の教育の振興と健全な発達に寄与し、福祉の増進に努めるとともに、会員相互の親睦を深めることを目的としてPTAを組織している。

PTA活動は、PTA役員を中心に5つの委員会が協力して活動している。「保護者全員参加の一人一役」を実施しており、全保護者の方々に学年に応じた委員会に所属して頂いている。



### ◆委員会の取り組みについて

本校PTAでは、学年ルールというルールをとっており、全保護者が学年に応じた委員会に必ず属する仕組みになっている。

#### 1. 親睦委員会

- (1) 各部門の小学部1年、2年、3年の児童の全保護者(訪問学級を含む)が委員。
- (2) 本校の保護者、教職員の交流及び、親睦を深めるための企画運営を担当している。
- (3) 今年度は、あいさつ運動、給食試食会、クリスマス会を行った。

#### 2. 家庭教育学級委員会

- (1) 各部門の小学部4年、5年、6年の児童の全保護者(訪問学級を含む)が委員。
- (2) 本校児童生徒の家庭や学校その他の生活環境が、より充実するために保護者間での勉強会、及び、親睦を深める行事などの企画運営を担当している。(年4回~6回)
- (3) 今年度は、第1回では「チャレンジマート講演会と実践」、第2回目では「そば打ち体験」、第3回では「クリスマスリースを作ろう」、第4回では「教材作り」などの活動を行った。

#### 3. 教育活動支援委員会

- (1) 各部門の中学部1年、2年、3年の生徒の全保護者(訪問学級を含む)が委員。
- (2) 本校児童生徒の学校教育活動に関わる支援を企画担当している。
- (3) PTA役員会での託児サポート **ボランティア養成講座「トライアングルクラブ」**\*調査研究事業、チャレンジマート(学校の中のお店屋さん)、図書室の本の修復などを行った。



#### 4. 地域交流委員会

- (1) 各部門の高等部1年、2年、3年の生徒の保護者(訪問学級を含む)が委員。
- (2) 地域と交流を行い、連携して学校生活環境の向上を図るための行事や支援を行う。
- (3) 地域の掃除活動、本校文化祭でのフリーマーケット、金沢子ども医療福祉センター夏祭り協力を行った。

#### 5. 進路委員会

- (1) PTA役員より互選する。
- (2) 学校(進路指導部)との情報交換を密に、子どもたちの進路について共に考える。
- (3) 今年度は、施設見学、進路座談会を行った。



親睦委員会 あいさつ運動



教育活動支援委員会 チャレンジマート



家庭教育学級委員会 そば打ち体験



地域交流委員会 お花の水やり

### 3 ボランティア養成講座「トライアングルクラブ」の概要

#### ◆ 事業目的

ボランティア、児童生徒、保護者が、トライアングルの形のように繋がりを持ち協力をして、障がい児の心豊かな生きがいのある地域生活の創造をめざす。その地域余暇活動を支えるボランティア等の協力者や理解者、支援者を養成する。障がいのある人と、障がいのない人との相互理解を深める。知的障がい、肢体不自由等、障害種別を超えた活動の実践をはかる。専門性の向上のための、外部講師招へいによる講習会、勉強会を実施する。

#### ◆ この活動のはじまり

この活動が始まったのは、肢体不自由教育部門が開校した平成 18 年度。当時の P T A 会長と校長とが協力をして、学校周辺の森本地区に本校の紹介とボランティアの募集を行った。森本地区連合町会長に依頼し町会ごとに回覧板を回して頂いた。地道な活動の成果があって‘森本地区ボランティアグループ’が結成された。主に学校周辺地区にお住まいで 40 代から 60 代の女性の方が多い。今までの自分のキャリアを、障がい児へのボランティア協力で活かしたいという思いを持った方々ばかりである。同じく、学校関係にも活動を広め、専門学校、短期大学、高等学校あわせて 5 校の生徒もボランティア参加を頂くようになった。

平成 20 年度に知的障害教育部門も開校し、肢知併置の特別支援学校となってからも変わらぬご理解とご協力を頂き活動を継続している。

#### ◆ ボランティア登録依頼

この活動を通し、託児ボランティアを引き受けて下さった学校周辺の地域の方々に「今後も継続的にお手伝い頂ければ」と登録を頂いた(ボランティア登録依頼書)。毎回お帰りの際に新規のボランティア登録を頂けるよう声をかけている。現在登録人数は 40 名。

決して毎回のお手伝いを強制することなく、都合の良い日、都合の良い時間にご協力をして頂いた。また、お預かりした登録書は個人情報外部に漏れないように十分配慮し、必要以外には使用しない事を約束した。

ボランティア登録依頼書					
氏名	_____	年齢	_____	性別	男・女
住所	_____				
電話番号	_____				
アドレス	_____				
看護師免許	・有	・無			
*該当するものに○をつけて下さい		・地域			
	・学生	学校名(	_____	)	
	・その他	(	_____	)	
ボランティアをやってみたいと思った動機は何ですか？					
【 _____ 】					

## ◆活動内容

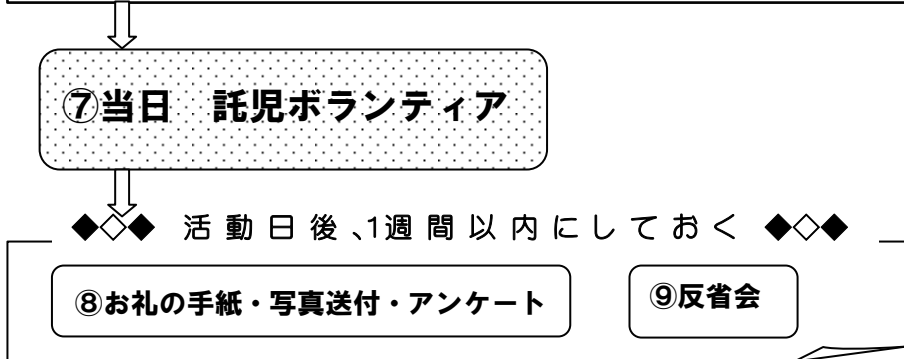
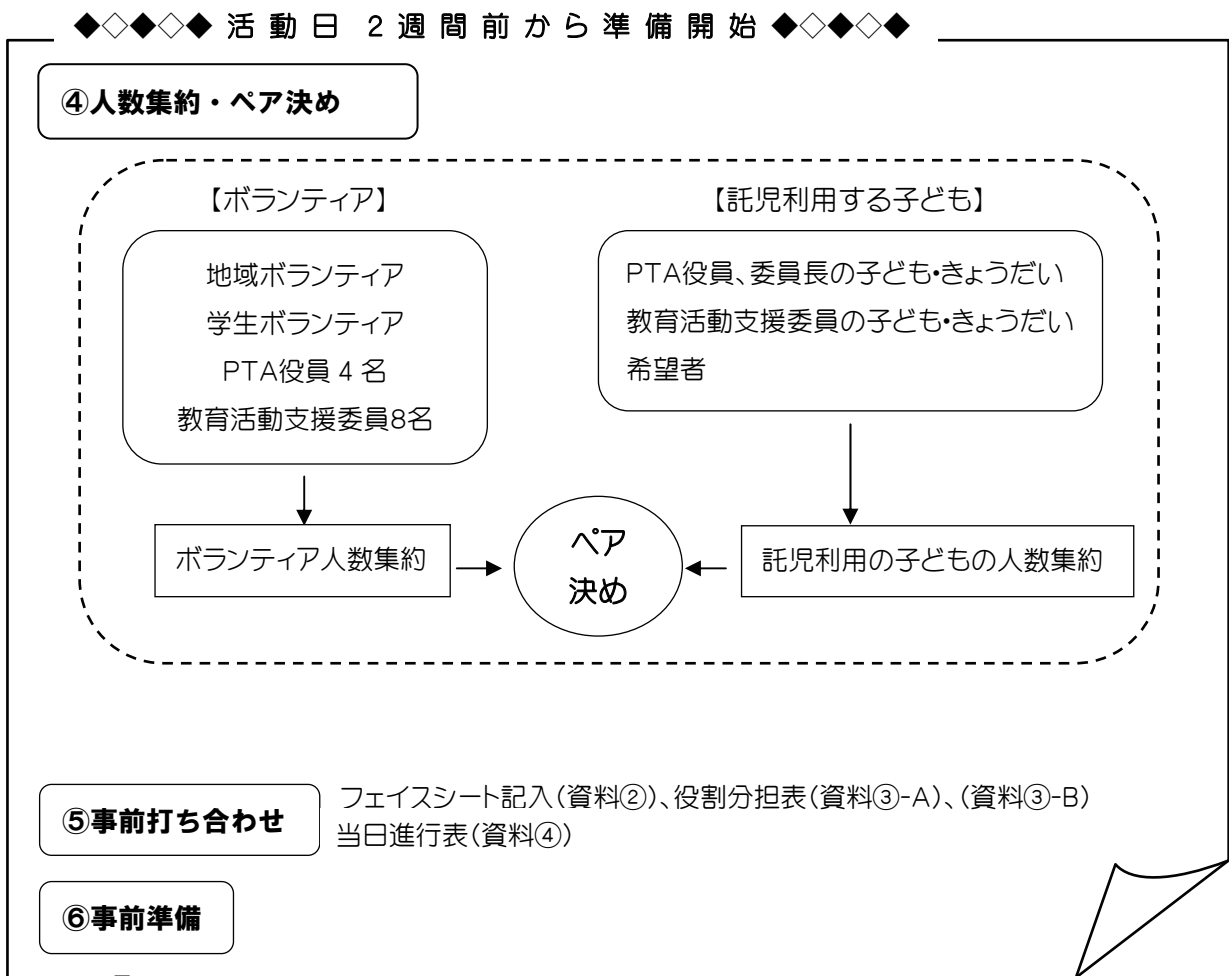
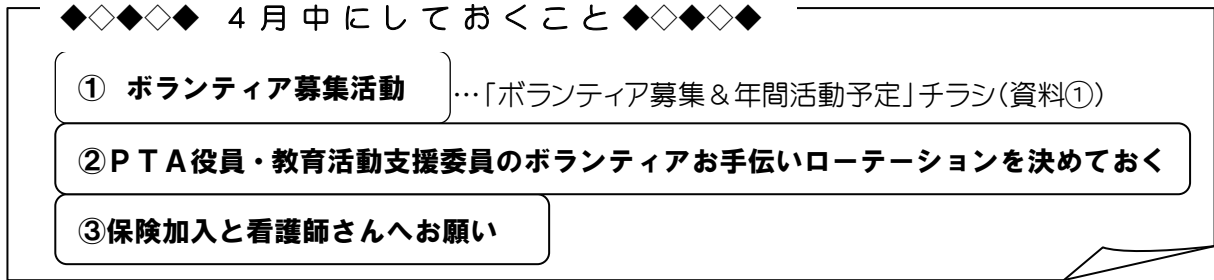
活動日は主に、土曜日に行っている年6回のPTA役員会中の2時間あまり、役員の子どもとそのきょうだいの託児ボランティアをお願いしている。その他、文化祭やクリスマス会などにもお願いしている。ボランティアの年齢層は幅広く10代から50代まで。年齢に関係なく全員が楽しめて親睦を深める活動に心がけ、計画を立てている。活動内容に関してはPTA役員が4月中にアイデアを出し合い相談をして決めている。例えば、名刺作り、七夕作り、風船バレー、フライングディスクなど。

## ◆平成22年度事業計画

	日時	場所	内容	目的	講師
第1回	5月15日 (土)	美術室 図工室	名刺作り	名刺作りを通じてお互いの名前や顔を覚え知りあいになり、親睦をはかる。	田中里美氏 森 春美氏
第2回	6月26日 (土)	小体育館	風船バレー	子ども達と共に体を動かし心身ともにリフレッシュをはかる。チームワークの大切さを学ぶ。	油木由美子氏 峠谷直美氏
第3回	9月25日 (土)	大体育館	ボッチャ ぷち運動会	ボッチャの体験を通し障害者スポーツを楽しむ理解する。競技に参加しルールを理解する	石川県ボッチャ協会 中空清恵氏 中空喜代子氏 成岡洋介氏
第4回	10月23日 (土)	小体育館	ミュージック・ケア 音楽会	音楽療法について学び子どもたちと共に体験する。また生の音と触れ合う。	永井陽子氏 金沢こども医療福祉センター 言語聴覚士 竹元まゆみ氏
第5回	11月27日 (土)	大体育館	警察音楽隊 防犯講座	演奏を楽しみながら身の守り方を学ぶ。	金沢東警察署 河光美紀氏
第6回	平成23年 2月19日 (土)	小体育館	茶話会 紙芝居	お茶を飲みながら親睦を深める。 紙芝居を楽しむ。	山下留美子 西野晴美氏

#### 4. 活動の流れ

##### ◆全体図



◆全体図①～⑨について

① ボランティア募集活動(4月)

- 4月中に「ボランティア募集&年間活動予定」のチラシ(資料①)を配布
    - 地域ボランティアへは…登録済みの方全員に郵送
    - 学校関係(専門学校、短大、高校等)へは…FAX、案内文を添える
    - 学校周辺地域(金沢市森本地区)へは…2か所の公民館をお願いをして回覧版と一緒に配布してもらう
    - 公民館と周辺商店街へポスターはる…公民館は2か所、周辺はコンビニ、花屋、薬局など
- (資料①) ボランティア募集&年間活動予定

石川県立いしかわ特別支援学校PTA  
トライアングルクラブからのお知らせ

Hello...  
ボランティアさん大募集!!

保護者が役員会に出ている間、子ども達といっしょに  
楽しく活動に参加していただける方を募集しています。  
★今年度も楽しい企画を考えています★

受付◆午前9:00 開始◆午前9:30～12:00

5月15日	名刺作り 講師：田中里美氏 森 春美氏
6月26日	風船バレー 講師：峠谷里美氏 油木由美子氏
9月25日	ぷち運動会&ボッチャ体験 パン食い競争、玉入れ他
10月23日	音楽会、ミュージック・ケア♪ 講師：永井陽子氏 言語聴覚士 竹元まゆみ氏
11月27日	防犯巡回コンサート&防犯講座 講演：金沢東警察署 河光 美紀氏 演奏：警察音楽隊
平成23年 2月19日	茶話会、紙芝居 講師：山下 留美子氏 岡野 晴美氏

## ② P T A役員・教育活動支援委員のお手伝いローテーションを決める

- ▶ 地域ボランティア、学生ボランティアの他に、P T A役員の中から 4 名、教育活動支援委員の中から 8 名がお手伝いに加わる。4 月中に、年間お手伝い当番表を決めておく(1 人 1 回以上の参加)。

## ③ 保険加入手続きと看護師さんへお願い

- ▶ 事故、ケガがあった場合に備え、ボランティア行事保険に加入しておく。6 回の活動日は決まっているので 4 月中に 6 回まとめて加入しておく。その他の P T A行事、例えば文化祭や座談会などで託児ボランティアを利用する場合は、その都度、加入手続きをする。
- ▶ 肢体不自由教育部門の児童生徒たちが、授業での訓練や放課後訓練でお世話になっている学校に隣接する金沢こども医療福祉センターの看護師に、子どもの医療的ケアが必要な事態に備えて行事毎に 1 名ずつ参加して頂いている。

## ④ 人数集約・ペア決め

### 《ボランティア人数集約》

- ▶ 開催日 2 週間前に、参加依頼のお願いをする。
  - 地域ボランティア…電話をかけて参加依頼のお願いし返事をもらう(後日 F A X の場合あり)。
  - 学生ボランティア…各学校に申し込み用紙を F A X する。参加者記入の上、締切日までに F A X をしてもらう様に案内文も添える。
  - 担当月の P T A役員 4 名・教育活動支援委員 8 名に、参加を確認。

### 《託児利用の子ども人数集約》

- ▶ 役員会出席の役員と委員長に、託児を利用するかを確認する(子どもを連れて来るかどうか)。
- ▶ 託児担当の役員 4 名と教育活動支援委員 8 名に子どもの託児を利用するかを確認する。
- ▶ 例年は役員会に出席する役員の子どもと、そのきょうだい対象であったが、今年度は第 3 回、第 4 回、第 5 回(P 6 年間事業計画表参照)を、本校全児童生徒と P T A 全会員に案内をして参加希望者を募った。但し、親子での参加を原則とした為、ボランティアの参加数が少ない場合は託児利用対象外となる場合もある。

### 《ペア決め》

- ▶ 参加の子どもと参加のボランティアの人数が把握できたら、ペアを決める。子ども 1 人に 1 人以上のボランティアがつくようにする。ボランティアの参加が少ない月は、知的障害教育部門の多動な子やこだわりの強い子などを優先する。更に、その子に適応したボランティアを担当にする。
- ▶ ペア決めは最も重要と考えている。子どもは知的障がい児、肢体不自由児の両方がおり、ボランティアは 10 代から 50 代の幅広い方々が集まっている。子どもの性格もボランティアの性格も熟知した上でペアを決めなければ、この活動はうまくいかないし継続していけない。
- ▶ ペアは毎回変えて行くように心がける。また過去に相性の悪かったペアは避ける。

## ⑤ 事前打ち合わせ

### 《フェイスシート(資料②)を保護者に記入してもらう》

- ▶ 託児を利用する児童生徒全員の、フェイスシートを準備する。事前に表面の保護者記入欄に記入をしてもらう。ボランティアに児童生徒のことを理解して頂き安心して活動して頂けるような内容にしている。

- ▶ 当日、ペアのボランティアに渡し参考にしてもらう。活動終了後には、裏面の記入欄に活動時の様子や感想、またアドバイス、気になったことなどを書いて頂き、保護者にフィードバックするような配慮を行っている。

(資料② 保護者記入欄…表面)…★例:肢体不自由教育部門

フェイスシート						
名前	〇〇 〇〇	学年	知 肢 小学部	5年	性別	女
病名	全前脳胞症 てんかん					
好きな事	絵本読み聞かせ、うた、手遊び、ピアノ、キーボード等の楽器、てすりを触る					
嫌いな事	自分のしたい事を抑制されること					
体位	(とれる体勢)うつぶせ、あおむけ、抱っこ (楽な体勢)うつぶせ					
排泄方法	紙オムツ					
移動手段	座位保持、ずり這い					
水分補給のとり方	とろみをつけてコップ又はスプーン、とろみが無くても少量ずつ紙コップの飲み口を折れば飲める。					
コミュニケーションのとり方	好きな事を提示して本人の興味を持った事で一緒に遊んで欲しい。興味がなくなったら次の事で遊んで欲しい。一度機嫌が悪くなったら床や壁、窓のある所へ行って、それらを触って落ち着くまで待っててください。					
気をつけたいこと	仰向けの時は頭をあげて勢いよく降ろす事があるので注意してほしい。力の加減が苦手なため、お友達に触ろうとして力が入りすぎる事があるので注意してほしい。				写真	

(資料② 保護者記入欄…表面)…★例:知的障害教育部門

フェイスシート						
名前	〇〇 〇〇	学年	⑩ ・ 肢 中学部	2年	性別	男
病名	自閉症					
好きな事	トランポリン、音の鳴る本、乗り物見学					
嫌いな事	昆虫…クモ、ハチ 遊園地					
体位	(とれる体勢)特になし (楽な体勢)特になし					
排泄方法	自立					
移動手段	1人で歩きます					
水分補給のとり方	コップ、ストロー、どちらでもOKです					
こだわり	スクールバスの見学が好きで、なかなか動こうとしません。					
コミュニケーションのとり方	しゃべれませんが、日常的な事は言葉で伝わります。例えば、「行くよ」「おしまい」「駄目よ」「待つよ」など。要求は単語で伝えてきます。「トイレ」「要らない」「ちょうだい」など。					
気をつけたいこと	集中力がなく、活動に最後まで参加できるか不安です。部屋をでて気分転換をさせてあげて下さい。脱走は多分無いと思いますが、走ったらかなり早いです。飽きてきたらプレイルームで遊んで下さい。				写真	

(資料② ボランティア記入欄…裏面)…★例

月/日	名前	所属	ひとこと
5/15	〇〇	地域ボランティア	「書いて」というと上手に絵をかいてくれましたよ。アンパンマンの顔のようです。アンパンマン号もかいてくれました。ハサミを上手に使っていました。
6/26	〇〇	◇◇◇専門学校	トランポリンがとっても上手でした。
9/25	〇〇	□□短期大学	………
10/23	〇〇	〇〇〇高校	………
11/27	〇〇	地域ボランティア	………

《役割分担 8 : 3 0 ~ 1 1 : 3 0 まで》

- 8:30 a m ~ 11:30 a m までの間の 役割分担を決める(資料③-A)(資料③-B)。通常は託児係の P T A 役員 4 名と担当月の教育活動支援委員とが協力し合う。今年度は、第 3 回と第 5 回は P T A 役員全員が準備係、託児係に参加した。

(資料③-A) 役割り分担 8:30~11:30 <<★例:風船バレー>>

役員		8:30~9:15	9:15~9:30	9:30~12:00		
高松	紺谷	会議室準備…①	は じ め の 会 …⑨	会議 室	PTA役員会	
岡田	中井	お茶当番 …②				
松本	石田	受付係 …③				
長谷川	西島	受付係		体 育 館	リーダー 進行係	
福田	上島	門番 …④			審判	
米澤		手洗い場係…⑤			審判	
斉藤		リーダー …⑥			得点・タイム	
村上		進行係 …⑦			得点・タイム	
油木		活動の準備			カメラ係 …⑪	
今村		託児係 …⑧			託児係 …⑫	
田中					リーダーの子供 見守り…⑩	全体見守り、託児補佐…⑬
加賀						
孫田	小竿					
吉川						
表						
峠谷						

(資料③-B)…資料③-Aの①~⑬について

①	会議室準備	2名	役員会における机の配置。資料の配布など。
②	お茶当番	2名	役員会におけるお茶・コーヒーの準備。



③	受付係	4名	受付の準備とチェック。名札を渡す。ボランティアにフェイスシートを渡す。
④	門番	2名	子どもが門から出て行かない様に見守り。緊急時は連絡。 時間がきたら門を閉める。
⑤	手洗い係	2名	アレルギー等を考慮し、衛生上全員手洗いをする。石鹸等の準備と、促し。
⑥	リーダー	1名	毎回PTA役員が交代で務める。全体の把握、進行係
⑦	進行係	2名	リーダーと共に、司会進行。全体見守り。
⑧	託児係	7名 ～ 8名	8:30から9:15 ・「はじめの会」が始まるまでの間、子どもの見守り、待機。 ・この時間帯にはボランティアはいないため、どうしても手薄になり、1対1での見守りは難しい。手のかかる子どもを優先して1対1の託児。比較的の手のかからない子どもは、 <u>託児係り1対子ども2</u> 、などにする。 ・肢体不自由教育部門の託児係りの保護者はなるべく肢体不自由教育部門の子どもとペアにする。医療的なことなど慣れていて対応できるため。 ・知的障害教育部門の託児係りの保護者はなるべく知的障害教育部門の子どもとペアにする。多動やこだわり、パニックに対応できるため。 <<ペア:例    Aは肢体不自由教育部門    Bは知的障害教育部門>> 岡田(B保護者)・・・たつや(B)／なおや(きょうだい) 吉川(A保護者)・・・ひろまさ(A)／たろう(A) 油木(A保護者)・・・ゆい(B)／よしたか(B) ↘B部門でも手がかからないのでA部門の託児係りが1対2の対応 高松(A保護者)・・・みき(A)／たかまさ(A) 斉藤(B保護者)・・・ゆうや(A)／ゆうこ(A)／こはる(A) ↘ケアの少ない子なので1対3の対応 石田(B保護者)・・・りょうたろう(B)    村上(A保護者)・・・さき(A)／なな(B) 米澤(B保護者)／表(B保護者)・・・たかし(B) ↘手がかかる、脱走するので2対1の対応
⑨	はじめの会		ボランティア、子ども、役員、教育活動支援委員、保護者が集合 託児を利用する役員は、ボランティアにフェイスシートを渡し、託児について打ち合わせ。
⑩	子ども見守り	2名	9:15～9:30 「はじめの会」の間、リーダー1名と進行係2人の役員の子どもの教育活動支援委員が引き続き見守り。
⑪	カメラ係	1名	活動全体を通して撮影。最後に全員で記念撮影。
⑫	託児係	2名 以上	9:30～11:30 ボランティアと子どものペアでの託児開始。教育活動支援委員か託児係役員が数人ペアを組みボランティアに参加。
⑬	託児補佐	2名	フリー。全体見守り。

《進行表(資料④)の作成》

(資料④) ★例:第3回ボッチャ&ぷち運動会

9:00	9:10	9:20	9:30	9:40	10:40	10:50	11:10	11:30	11:50	12:00
受付開始	開会式	大玉転がし	紅白玉入れ	ボッチャ		休憩	パン食い競争	障害物競争	リレー	閉会式

**⑥事前準備**

- 活動に必要な場所の確保。体育館、プレイルーム、美術室などを使う場合、貸出表に記入して学校に依頼し許可をもらう。
- 必要な物の準備。風船バレー用のネットやフライングディスクの道具。大型TV、CDデッキ、本など。貸出表に記入し学校に依頼し許可をもらう。
- 必要な備品の買い出し。名刺づくりの材料、風船バレーの風船、景品、お茶など。
- ボランティア向けのプレゼント用意。主に高等部の作業の時間に制作している物を中心に準備している。パン、メモ帳、マグネットなど。

**⑦当日**

- 当日は役割分担表の通りに準備をする。進行係は十分に打ち合わせをし、進行する。
- ボランティアと子どもはペアで活動する。

**⑧お礼の手紙・写真送付・アンケート**

- 1週間以内に、お礼の手紙を添えて集合写真を送付する。今年度は第2回、3回、4回においてアンケートに協力頂くことにした。アンケート用紙を写真とを一緒に送付し、返信してもらう形をとった。(アンケート内容・結果は各活動報告参照)

**⑨反省会**

- PTA役員、教育活動支援委員とで毎回反省会を行う。子どもの問題行動、ボランティアとのトラブル、連絡の不手際、準備の不手際など活動を振り返り、その原因は何だったのか反省をし、解決方法を考え、次回の活動に繋げる。

## 5 活動報告

### 【第1回 名刺作り】

#### ◆活動内容

日時	5月15日(土曜日) 9:30am~11:30am		
参加ボランティア	17名……地域3名/学生5名/PTA役員4名/教活委員5名		
参加児童生徒・兄弟	17名……肢体不自由教育部門6名/知的障害教育部門8名/きょうだい3名		
ペア	～太字は課題①②③④～		
	R君→地域ボ Y君→学生ボ Yさん→学生ボ Kさん→教活委員 R君→教活委員 Kさん→学生ボ	Y君→地域ボ H君→学生ボ <b>Nさん→教活委員②</b> Tさん→教活委員 T君→学生ボ <b>Aさん→地域ボ④</b>	N君→教活委員 <b>T君→学生ボ①</b> S君→学生ボ T君→学生ボ <b>Rさん→学生ボ③</b>
活動場所	美術室・図工室 プレイルーム(活動に参加できない子)		
準備したもの	色画用紙をはがきサイズに切っておく。 いろいろみ、シール、色マジック、はさみ、テープ、きらきらテープ、シールいろ紙		
活動内容	2グループに分かれ、美術室、図工室で活動。 はがきサイズに切った色画用紙に絵や文字をかく。シール、色紙等で飾り付け。 終了後は小体育館へ移動し、名刺交換をしながら交流をした。		
全体の様子 ～良かった事～	<ul style="list-style-type: none"> <li>•全体的に子どもたちもボランティアも熱心に楽しく名刺作りが出来た。時間いっぱいまで取り組み、凝ったものが仕上がった。</li> <li>•肢体不自由教育部門 1人は床に座ったままだったがボランティアが上手く相手をしてくれ、機嫌は良かった。</li> </ul>		
全体の様子 ～課題あり～	<ul style="list-style-type: none"> <li>•課題①T君…準備段階での脱走、活動に参加できない</li> <li>•課題②Nさん…活動に参加できない</li> <li>•課題③Rさん…1人で廊下を歩いていた</li> <li>•課題④Aさん…リーダーと保護者間のトラブル</li> </ul> <p>～課題①～④下記参照～</p>		
全体の反省点	<ul style="list-style-type: none"> <li>•第1回目は、地域ボランティアの参加が少なかった。教育活動支援委員の人数を増やして補う必要があった。</li> <li>•リーダーと一部の託児係りは、全体的にものすごくバタバタした、と感じた。リーダー以外にフリーで動ける人が1～2名いた方がよかった。</li> <li>•ボランティア、教育活動支援委員、託児担当の役員は、緊急時に連絡を取り合えるようにしておかなければならない。</li> <li>•ハサミの数が足りなかった。</li> <li>•片づけ、ゴミ拾いを全員で協力すればよかった。</li> </ul>		

◆課題

①…T君(知的障害教育部門 中学部)

<p>問題行動</p>	<p>・T君は役員をしている母と来た。受付を済ませた後、プレイルームで待機していた。母は準備のためT君を他の託児担当役員に預けて出て行った。その後しばらくして、プレイルームを脱走し、小学部教室の窓のかぎを開け外へでていった。</p> <p>託児担当係の役員がすぐに気が付き後を追った。つきっきりで学校周辺を散歩していたらしい。散歩中は困った事も無かったのだが「心配して探しているのではないか…」と思いリーダーの携帯に連絡した。しかし繋がらなかったため学校へ連絡をいれた。脱走したことに誰も気がついておらず、先生方は慌てた。しばらくして正門から帰ってきた。</p> <p>・脱走したT君は、名刺作りはほんの少し参加しただけで、その後は学校内散歩をし続けた。ペアのボランティアは、最後までつきっきりで付き合っていた。</p>
<p>反省点</p>	<p>・8:30～9:15の時間帯はプレイルームには数名の託児係がいて全体の見守りをしていたが1人1人の担当を特に決めていなかった。目が離せない子どもには託児係が1対1で見守るようにしなければならない。</p> <p>・緊急時に連絡が取れなかった。</p> <p>・待機場所のプレイルームは平日学校のある日は勝手に入ってはいけない場所と教えられている。しかし活動日には自由に入出入りしてもよい、となると子どもたちは混乱しないだろうか…とT君の保護者は心配していたが、この点は子どもに経験させ学んでもらうしかないのではないだろうか。</p> <p>・名刺作りは座っての活動。比較的楽な活動だからボランティアは少なくても良いという考えは大きな間違いだと反省した。そのような考え方は事故につながる。</p> <p>・学校内は果てしなく広く、校内を散歩する場合慣れないボランティアは迷子になりかねない。もとの場所へ戻れるだろうか…などボランティアを不安にさせないようにしなければならない。</p>
<p>改善策</p>	<p>・準備段階の8:30～9:15の間(ボランティアがまだ居ない時間帯)も、子どもと教育活動支援委員との託児のペアをしっかり決めておく。この時間帯は託児係りが手薄である。脱走やパニックなどの問題行動をとる、と予想される子どもには1対1で見守るようにする。</p> <p>・知的障害教育部門の子どもには知的障害教育部門の保護者を担当にする。</p> <p>・脱走のような緊急時や、活動に参加できずに別行動をとってしまう場合には、ボランティアとリーダーが連絡し合えるようにしておくようにする。リーダーの携帯番号をボランティア全員に知らせる。</p> <p>・リーダーは進行係もするため忙しく着信に気がつかない場合もある。緊急時連絡係をリーダー以外に1人決めておく必要がある。全体見守りも含めフリーで動ける役員を1人～2人決めておく。</p> <p>・ボランティアの参加が少ない月は、教育活動支援委員の参加を増やして対応していく必要がある。</p>

## ②…Nさん(知的障害教育部門 高等部)

活動の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>•学校が休みの日に学校へ行く、という事が理解できるか心配だということで、対策として保護者は子どもの好きなCDを持参してきた。これが正解ですんなりプレイルームに入りCDを聞いて待機することができた。名刺づくりには少ししか参加できず、プレイルームへ戻ってCD音楽を聞きたがる。ペアのボランティアはNさんの行動をよく理解しプレイルームで見守りをしてくれた。むりやり名刺作りに戻ろうとしなかった事が良かったと思う。</li> </ul>
反省点	<ul style="list-style-type: none"> <li>•子どもが活動に参加できない場合、どう対応すれば良いのか、活動に戻るようになるのか、無理にもどらなくても良いのかボランティアに伝えてボランティアが不安にならない様にする。</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>•活動に参加できない場合の対応をフェイスシートにしっかり分かりやすく書きこんでおく、更に保護者とボランティアが事前にしっかり打ち合わせをしておく。</li> <li>•活動に参加できない子どもは今後も居ると想定される。そんな時の為に、他に楽しめる事を用意しておく。プレイルームにはトランポリン、ボールプール、CDが用意してあるが飽きてしまうので、シャボン玉やDVD、バランスボールなどの用意をしておく。</li> </ul>

## ③…Rさん(肢体不自由教育部門 小学部)

活動の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>•名刺作りには参加できた。しかし体育館へ移動してから、名刺交換をしている内に、1人で体育館を出て廊下を歩いていた。丁度役員会が終わった時で会議室から降りてきたPTA役員に保護された。託児係りは誰も気がついていなかった。</li> </ul>
反省点	<ul style="list-style-type: none"> <li>•肢体不自由教育部門だが、車いすではなく歩ける子どもだった。走ったりはしない子なので、安心してしまった。活動も終了間近でボランティアも目を離してしまった。役員会にでている母親を探しに行ったのかもしれない。</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>•子どもには目を離さない様に気をつけてもらうしかない。</li> </ul>

## ④…Aさん(肢体不自由教育部門 小学部)

活動の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>•重度のお子さんで、おむつ替えは保護者がしたいとの希望だった。保護者は役員会の途中で抜けて来たが、オムツ交換の場所を決めていなかったため保護者は「どこで替えればいいの」と問い、不愉快な思いをした。</li> </ul>
反省点	<ul style="list-style-type: none"> <li>•どんなに重度の子供でも、オムツ交換を保護者がする必要がないのではないだろうか。看護師も1人居るし、託児係りの中にも重度の子どもの保護者もいる。そう説明をして任せてもらえば良かったと思う。</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>•オムツ交換は託児係がすることを基本とし、どうしても保護者の希望がある場合は、交換場所はトイレか教室に決めておく。</li> <li>•今回の様に、オムツ変えの場所などで連絡漏れがあった場合は、ボランティアにも保護者にも直ぐに謝るようになる。今回もリーダーがその場で両方に謝り、更にその日の内にお詫びの電話をいれた。同じく保護者に対しても謝り、理解を求めた。</li> </ul>

## 【第2回 風船バレー】

### ◆活動内容

日 時	6月26日(土曜日) 9:30am~11:30am		
参加ボランティア	32名……地域10名/学生11名/PTA役員4名/教活委員7名		
参加児童生徒・兄弟	18名……肢体不自由教育部門4名/知的障害教育部門12名/きょうだい2名		
ペア	～太字は課題①②～		
	R君→地域ボ	Y君→学生ボ/地域ボ	<b>T君→学生ボ/教活委員</b>
	N君→学生ボ	S君→学生ボ/学生ボ	Y君→地域ボ
	Kさん→地域ボ	H君→地域ボ	T君→学生ボ
	Yさん→地域ボ	T君→地域B/教活委員	Rさん→地域ボ
	Nさん→学生ボ/教活委員	Mさん→学生ボ	Yさん→学生ボ
	Rくん→学生ボ/教活委員	Aさん→地域ボ/学生ボ	<b>M君→地域ボ</b>
活動場所	小体育館 プレイルーム(活動に参加できない子)		
準備したもの	前日にコートラインとネットをはっておく。 ホワイトボードに得点盤を作製。 チーム表を拡大してプラカードのように作製した。 参加者全員に500mlの飲み物を用意した。		
活動内容	4チームでリーグ戦。1チーム11名ずつ。コートは1面。 ルールは8人制で8分で終了。点数の多い方が勝ち。		
前回の反省点で改善した事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8:30~9:15までの間の託児ペアをきっちり決めた。この間は委員長の子ども3人はまだ来ていないので、子ども15人に対し、託児係8人が対応した。前回脱走したT君は保護者に見守りをお願いした。</li> <li>・リーダーの携帯番号をボランティア、教活委員、役員全員に知らせた。</li> <li>・リーダー以外にフリーで全体見守り係を1人おいた。前年度役員の経験者で、託児に慣れている人を選んだ。</li> </ul>		
全体の様子 ～良かった事～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回活動に参加出来なかったNさんは、最後まで風船バレーに参加できた。2回目でもあり見通しがたったのだろうか。</li> <li>・年齢に関係なく楽しめていた</li> </ul>		
全体の反省点 ～課題あり～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題①T君…ふうせんバレーの途中で体育館を出て教育活動支援委員と校内散歩しつづけた。</li> <li>・課題②M君…活動に参加できない。パソコンの教室へ入りたがる。地域ボランティアはつきっきりだった。</li> </ul>		
全体の反省点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技に夢中になりすぎて写真を撮る事を忘れてしまった。</li> <li>・むし暑い日で飲み物が足りなかった。</li> <li>・色々不手際が続いたので、ボランティアの感想や意見を把握した<b>アンケートに協力して頂くことにした</b>。回答は今後の活動に役立てようと思った。</li> </ul>		

## ◆課題①②

### ①…T君(知的障害教育部門 中学部)

問題行動	<p>・前回活動に参加出来なかったので託児係りは気をつけていた。思っていたよりも長くふうせんバレーに参加できたが後半体育館を出て教室をうろうろしていた。「戻ろう」と声かけたが教育活動支援委員の手を振り払って言う事を聞かなかった。</p> <p>・T君には学生ボランティアと教育活動支援委員、2人のボランティアが担当していた。活動に参加出来ない場合は教育活動支援委員が付き添う事に打ち合わせをしていた。担当の教育活動支援委員は知的障害教育部門の保護者にした。T君が学校内を散歩したがるかもしれないと、事前打ち合わせで伝えてあった。困った時はリーダーに連絡を入れるようにと番号を知らせてあった。フリーの託児係が手伝う事も決めていた。しかし、いざリーダーに連絡を入れたが繋がらなかった。</p>
反省点	<p>・リーダーはふうせんバレーの審判をしていて着信に気がつかなかった。リーダー以外に緊急時連絡係を決めておく、という前回の反省がいかされなかったのは、今回のフリーの託児係りが携帯電話を持っていなかったから。</p>
改善策	<p>・緊急時の連絡を、リーダーだけでなく数人決めておく。一覧表でもよい。</p> <p>・T君は前回、今回と活動に参加していない。3回目は、保護者とボランティアが2人で託児をしてみてもどうか。</p>

### ②…M君(知的障害教育部門 中学部)

問題行動	<p>・休日に学校へ来たことが理解できていなかったのかもしれない。最初からパソコンのある教室へ行く事を決めていたようだった。地域ボランティアは長時間付き添っていた。「パソコン教室禁止」と引き留めてくれた。</p> <p>・途中フリーの託児係がかけつけたが、なかなかパソコン教室があきらめられずに動かなかった。それでカメラ係をしていた保護者を呼んでボランティアと交代した。</p>
反省点	<p>・普段は手のかからない子で、M君の保護者も同じ体育館内にいたので、ボランティアも要らないだろう、くらいに軽く考えていた事が間違いだった。</p> <p>・地域ボランティアは携帯電話を持っていたのか確認しておく必要があった。リーダーの携帯番号を知らせてあったが携帯を所持していなかったようだ。</p>
改善策	<p>・地域ボランティアは携帯電話を所持しているかどうかの確認をしておく。</p> <p>・知的障害教育部門の子どもの託児は携帯電話を所持している方にする必要がある。</p>

## ◆アンケート

- アンケートに協力を頂くのは今回が初めてだった。じっくりと書いてほしかったので当日回収するアンケートは止めた。写真郵送時にアンケート用紙を同封し返信用の封筒で後日返送してもらう形をとった。アンケートの内容は○で囲む形式ではなく記述式にした。参加しての感想、ご意見、ご要望、改善点など、なんでも構わないので書いてもらうようお願いした。A4サイズの3分の1程度のスペースをとった。
- 課題②M君の担当ボランティアNさんには、お礼の手紙の中でお詫びと反省の気持ちを伝えた。

## 集計結果

回収率 71%。 21人中 15人の方に回答を頂いた。アンケート用紙に記入をお願いしていたが、2名の地域ボランティアは便箋での丁寧な回答をして下さった。

### アンケートのまとめ

アンケート回答の内容はまとめる。質問等には答える形でまとめ、郵送した。

#### 【地域ボランティアからの回答】

- 楽しく子どもさん達と過ごせた。それぞれ個性のあるお子さん達と毎回逢えて新しい発見があり嬉しいです。毎回楽しみにしていますので、これからも宜しく願いいたします。
- 「全知P連 調査研究助成事業」に指定校決定との事、どういう事業なのか詳しく知りたいです。機会があれば教えて下さい。→説明をしました。
- 風船バレーで子ども達の打つ動作、周りで元気な声をあげて応援する子ども達、その中で久しぶりに自分を忘れて楽しみました。
- 保護者の方が何名、何カ月に何回開催されるのですか？他町の支援学校とPTAとしての交流みたいなものはあるのでしょうか？
- ボランティアに行くたびに保護者の方々、子供達から元気をもらって帰っています。
- ボランティアに行く度に触れ合った子供達が成長しているのが分かり大変嬉しく思います。気がついた点は、①水分補給で500mlのペットボトルを用意して頂きましたが、直接飲めない子もいますのでコップかストローを用意しておいて下さい。今回ボランティアには名前付きのペットボトルを用意して頂き嬉しかったのですが、肝心の受け持つ児童に水分補給させてやれないのは可哀想です。②フェイスシートにビニールがカバーされてない場合もあります。全員カバー付きをお願いします。
- 知人のお子さんで障害のある子と、中学～高校と接した事がありましたので色んな事を思い出しながら、こんな時はこうだった…こんな時はこうすれば良いと思い、少し自由にさせてあげました。体育館へ戻らなくちゃ、いいや、ここに一緒にいようと思い、話しながら自由行動をさせて頂きました。話しかけも、卒業生の職場の写真を楽しそうに説明する姿にも接する事が出来ました。又会えるのを楽しみにしています。→このボランティアは課題②M君の担当Nさんです
- 時々、ご一緒させて頂くことを幸せに嬉しく思います。新しい発見を戴いた日は宝の保管庫にしまい、事ある毎に助けられています。これからも続く限り宜しくお願いします。
- ボランティアは私にとって勇気や元気、若さをもたらしている時間になっています。初めてお会いするお子さん、久しぶりにお会いするお子さん、嬉しい出会いと感動があり、PTA役員の方々の明るい笑顔と活動に対する情熱、そしてご家族・兄弟の絆を強く感じられる、私にとってこそ貴重な体験です。日頃から思っている事があります。①〇〇中学校にアルバイトで関わりあっている2人の生徒さんに、ボランティアの話をしたところ、是非参加してみんなと遊びたいしお手伝いがしたいとの事。なにかあれば機会を与えてやって下さい。②集合写真ですが毎回郵送は大変だと思いますので次回参加した時にいただくのにしたらいかがでしょうか？③またお茶しましょう。

#### 【学生ボランティアからの回答】→9人中4人が次回の活動に参加している

- 自閉症の子どもとのコミュニケーションがとれて楽しかったです。風船バレーでは障がい児のフォローをしてチームの勝利に貢献できて良かったです。次回のボランティアでは色んな障がいをもつ



た子どもとのコミュニケーションを図りたいです

- 大きい風船でバレーをするのが初めてだったので、とても難しかったですでしたが楽しかったです。またボランティアに参加して色々な方々と協力して1つの物事を成功させたいと思います。楽しい時間をありがとうございました。
- 今回は前回に続き2回目の参加をさせて頂きました。前回一緒に遊んだ子供たちが私の事を覚えていてくれた事が本当に嬉しかったです。今回の風船バレーは子供たちと入り混じっていたので楽しく汗を流すことができました。これからのボランティアにも参加しようと思っているので、又宜しくお願いします。
- とても楽しかったです。前回もボランティアに参加させて頂き子供たちが私の顔を覚えていてくれて嬉しかったです。風船バレーもとても楽しい企画で子供たちの笑顔をたくさん見ることができボランティアに参加して良かったと思いました。次回のボランティアもぜひ参加したいです。
- 先日はこのようなボランティアに参加させて頂き、とても勉強になりました。初めは何もかも分からない事が多かったのですが、多少不安でしたが、子供たちのニコニコした笑顔や元気なあいさつを聞いてとても嬉しかったです。風船バレーを通して子供達とコミュニケーションを取る事も出来たし子供達と一体になって運動する事で皆と楽しく3時間過ごすことが出来ました。1つ1つの自分からの声かけが重要なので話しかける事の大切さをボランティアを通して学びました。とても短い間の数時間でしたが中身の濃い充実した時間でした。ありがとうございました。
- とても楽しかったです。ボランティアをすることが初めてだったのですが、色々な年の子供たちと風船バレーをしたりお話できてすごく楽しかったです。貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。
- みんなと楽しく風船バレーをすることが出来ました。人なつっこく近寄って来てくれてとても可愛かったし、風船バレーを通じて仲良くなれたような気がしました。また、この様なボランティアがあったらぜひ参加したいです。
- 今回初めて託児ボランティアに参加させて頂き、障がいのある子どもたちと触れ合うことによりたくさんのお話を学ばせて頂きました。初めての経験という事もあり戸惑う事もたくさんありましたが、子どもたちの笑顔に勇気づけられ私自身とても楽しむことが出来ました。今回のボランティアをきっかけに障がいのある子どもたちに興味、関心を持ちました。またぜひ参加したいです。
- みんな元気で明るくてすごく仲良くなれてすごく楽しかったです。また参加したいです。ボランティアを通してたくさんのお話を学ぶことができました。貴重な体験をさせて頂き本当にありがとうございました。



### 【第3回 ボッチャ&ぶち運動会】

#### ◆活動内容

日時	9月25日(土曜日) 9:30am~12:00am
参加ボランティア	22名……地域7名/学生12名/教育活動支援委員3名
参加児童生徒・家族	51名(26家族)……肢体不自由教育部門17名/知的障害教育部門8名/ きょうだい6名/保護者20名
準備係PTA役員・教活委員	13人
ペア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア・子ども・保護者の3人ペア…15ペア</li> <li>・ボランティア・子どもの2人ペア…5ペア</li> <li>・保護者・子どもの2人ペア…5ペア</li> <li>・センターの先生とセンター生…6ペア</li> </ul>

#### ≪役割り分担表≫

役員	8:30~9:30	9:30~12:00						
		開・閉会式	大玉転	玉入れ	パン食い	障害物	玉送り	リレー
表	門番	あいさつ	カメラ	カメラ	カメラ	カメラ	カメラ	カメラ
福田			整列係		整列係	整列係	整列係	整列係
上島	司会進行	司会進行	進行		進行	進行	進行	進行
油木	打ち合わせ	司会進行		進行	進行	進行	進行	進行
吉井	手洗い場	マイク	得点版	得点版			得点版	得点版
北村	受付	ブラカード	スターター	スターター	スターター	スターター	スターター	スターター
中井		ブラカード	ゴール	ゴール	ゴール	ゴール	ゴール	ゴール
村上		音響係	音響係	音響係	音響係	音響係	音響係	音響係
高松		賞状準備		カゴ持ち	竿持ち	跳び箱	風船のせ	赤整列
助実	託児係			カゴ持ち	竿持ち	平均台	風船のせ	白整列
大家				玉準備	パン準備	ネット	新聞準備	
北村				玉準備	パン準備	じゃんけん	新聞準備	
山田			大玉準備		コーン	じゃんけん	コーン	コーン

活動場所	大体育館
準備したもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム、紅白チーム表、表彰状、ブラカード、プレゼント、パン、飲物、紙コップ、CD</li> <li>・前日に体育館に道具を運ぶ…ボッチャ、大玉、玉入れカゴ・玉、跳び箱、平均台、ネット 椅子、得点版、コーン、風船、新聞紙、パン食い竿、マイク</li> </ul>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者スポーツ「ボッチャ」を中心に、その他競技を行う。</li> <li>・ボッチャは講師3人をお招きし、ルール説明・実践をしてもらった。進行はお任せした。「レクボッチャ」とう簡単なルールで2通りのやり方で競技した。</li> <li>1つ目ルールは2コートに分かれ、カラーボール赤対青で対戦。写真(次ページ)の様に、布の</li> </ul>

活動内容

的に向かって順番にボールをなげる。手で投げられる人は手で投げ、投げられない人はランプ(シューター)を使う。的の中心部は3点、その周りは2点、1番外側は1点で得点の多い方が勝ち。

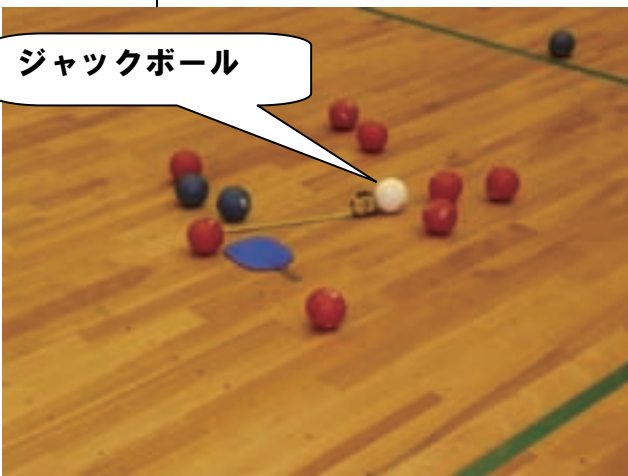


ランプ  
(シューター)



もう1つのルールは、まずジャックボール(白のボール)を投げて、そのジャックボールに向かって青チーム、赤チームが1回ずつ投げる。2回目からはジャックボールから遠い方のボールのチームからなげる。勝敗はジャックボールに1番近い方が勝ちで、ジャックボールを中心に相手の1番近いボールから円を描いて、その中にあるボールの数が点数になる。

ジャックボール





•その他の競技は、ボランティア・子ども・保護者の3人ペアを組み紅白対抗で競う。  
玉入れ、大玉転がし、パン食い競争、リレー。



玉入れ



大玉ころがし



パン食い競争



紅白対抗リレー

良かった事

- 開会式では選手宣誓、開会宣言を生徒代表がした。閉会式には全員に表彰状を渡した。
- プログラム作成、プラカード作成、音響、選手宣誓、表彰式で、運動会気分が盛り上がった。
- 紅白チーム編成は、肢体不自由教育部門、知的障害教育部門がバランス良くできた。



<p>全体の様子 悪かった事</p>	<p>・時間短縮のため、玉入れと大玉転がしの出場者を分け同時進行で行った事は良くなかった。 玉入れに出なかったのに大玉転がしをさせられて怒った生徒がいた（課題①T君）。</p>
<p>反省点</p>	<p>・肢体不自由教育部門の子どもは玉入れが出来なかった。カゴ以外に箱を置くべきだった。肢体不自由教育部門の生徒が各競技に参加可能か不可能か、介助が必要かどうか、を把握しておく。例えば、大玉は転がせるか、玉入れのカゴにいられるか、箱が必要か、パン食いの竿の高さはどうか、コーンでUターンできるか、など。</p> <p>・ポッチャ協会との打ち合わせ不足が進行の遅れに繋がった。講師との打ち合わせは密にしておく。進行はお任せしていたものの、どういう進めかたなのかを把握しておく必要があった。ポッチャ協会にタイムスケジュール表を決めて送っておいしたが、当日、講師3人中の1人が勘違いをしており、終了が20分も遅れてしまった。「まだかな…長い…」という雰囲気になってしまった。あとの競技に影響し、予定していた2つの競技が中止になった。当日朝にも、再確認する必要があった。</p> <p>・ポッチャは1人ずつ順番にボールを投げるため待ち時間が長かった。2面コートに分かれたが参加人数が多かったため(72人)、かなりの時間を要した。コート面を増やすことで待ち時間は解消されると思う。次回は倍の4面で競技をする事にする。</p> <p>・競技ごとにスタート順を決めたが、その整列に時間がかかってしまった。パン食い競争やリレーのスタート整列係を1人でなく3人くらいでやるようにする。時間短縮になったと思う。</p> <p>・競技説明不足だったため、分かりにくかった。競技説明を簡単でよいから丁寧にするべきだった。1部の人でなく全員に分かるように説明しなければならない。参加した人は予行練習も何もしていないので、スタート場所は分かって、ゴールが分からない人がたくさん居た。直進してゴールなのかUターンして戻ってくるのか、きちんと伝える。進行に課題が残った。</p> <p>・得点記録者との打ち合わせが悪かった。玉入れは入った玉の数を得点にする予定だったのに記録してなかった。得点版の数字が60までしかなく途中で間に合わなくなった。得点版の桁数がたりなかった。</p> <p>・ポッチャ以外は、かなり急いで進行してしまった。休憩時間も5分しか取れず肢体不自由教育部門の子どもはオムツ替や水分補給が出来なかった。もう少しゆっくり進行するべきだった。</p> <p>・ボランティアが3名欠席。そのペア予定だった3家族の内、1家族は「父親も参加している家族」の担当ボランティアに代わってもらえた。しかし、あと2家族のペアは代わりが居ない事になってしまった…(課題②T君家族)。今回はボランティア、子ども、保護者の3人ペアだったのでボランティア欠席でも大丈夫だと思ってしまった事が悪かった。</p> <p><b>今回もアンケートをとる</b></p>

◆課題

①…T君(知的障害教育部門)

<p>問題点</p>	<p>・T君は玉入れをしたくて張り切っていたのに、大玉ころがしのチームになっていて出来なかった。初端から機嫌を損ねてしまい最後まで不機嫌だった。</p>
<p>反省点</p>	<p>・玉入れと大玉転がしは同時進行だという事をプログラムに書くべきだった。チーム分けも子どもの意向を無視し役員が勝手にきめたことがいけなかった。しかし、そもそもチームを分け</p>

	る必要はなかったのかもしれない、両方とも全員参加にすれば良かった。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同時進行は今後しない。バタバタするし応援も出来ないし司会進行も2人要る事になる。</li> <li>・どうしても同時進行にしなければならない場合には、事前の参加申込書にどちらを選択するか希望を書いてもらう。</li> </ul>

## ②…O家族(知的障害教育部門 小学部)

問題点	・O家族のペアのボランティアが急に欠席になった。受付係は知っていたがO家族に伝えなかった。O保護者はボランティアを当てにしていた。ペアが欠席とは暫く知らずにいた。耐えかねてリーダーに確認しに来た。
反省点	今回はボランティア、子ども、保護者の3人ペアだったのでボランティア欠席でも大丈夫だと思ってしまった事が悪かった。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアが欠席の場合は必ず連絡。</li> <li>・フリーの役員か教育活動支援委員をおく。急な欠席などに対応できるように。</li> </ul>

## ◆アンケート

### アンケート内容

【アンケートのお願い】

●第3回「ポッチャ&ぷち運動会」についてお聞きします●

1. 開始時間について…9時から受付、9時20分開始

・早すぎる ・丁度良い ・遅すぎる ・希望開始時間があればお書き下さい ( )時( )分開始

2. 終了時間について…12時終了

・早すぎる ・丁度良い ・遅すぎる ・希望終了時間があればお書き下さい ( )時( )分開始

3. 活動内容について

競技内容について…大玉ころがし、玉入れ、ポッチャ、パン食い、リレー

・良かった ・普通 ・あまり良くない ・悪かった

競技数について…5種目(プログラムは7種目でしたが時間の関係上2種目はできませんでした)

・多すぎる ・丁度良い ・少なすぎる

進行について

・良かった ・普通 ・あまり良くない ・悪かった

4. 今後の活動について

開催日回数について…現在、年6回開催しております

多い 丁度よい 少ない

今後、「ボランティア養成講座」の活動でやってみたいことはありますか? あればご記入下さい。

.....

.....

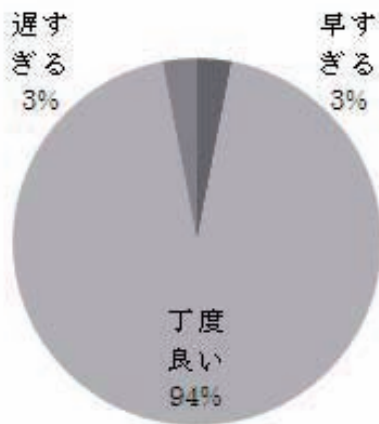
5. ポッチャ&ぷち運動会に参加しての感想、ご意見など、どんな事でもかまいません。

あればご記入願います

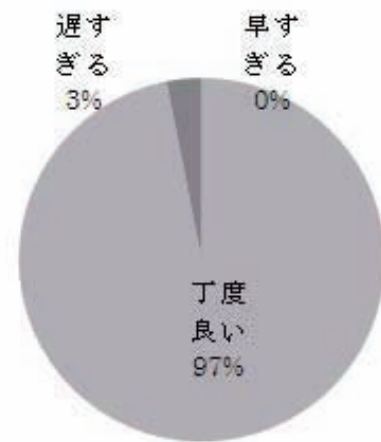
.....

アンケート結果①～④

1. 開始時間について…<9時から受付、9:20開始>



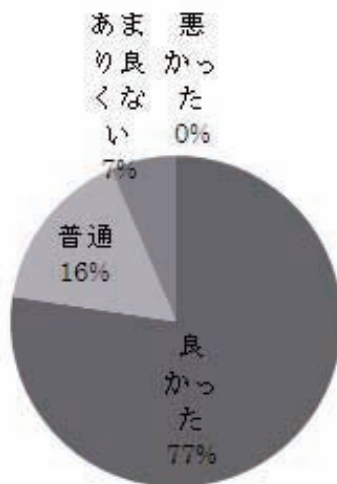
2. 終了時間について…<12時終了>



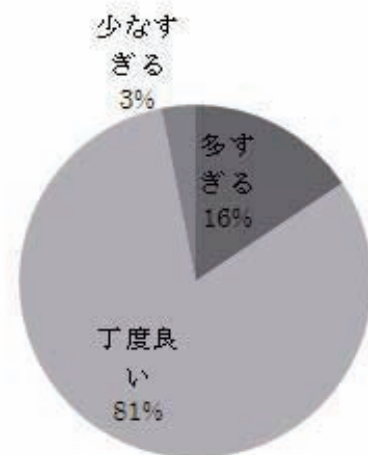
3. 活動内容について

㊦ 競技内容について…

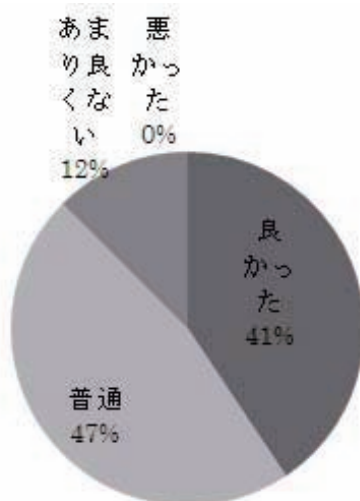
<大玉ころがし、玉入れ、ポッチャ、パン食い、リレー>



㊦ 競技数について…<5種目>

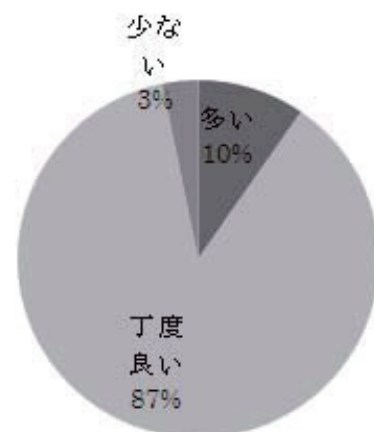


㊦ 進行について



4. 今後の活動について

(a) 開催日回数について…<現在、年6回開催>



## アンケート回答④～⑤

### 4. 今後やってみたい活度はありますか？

- 肢体不自由児、知的障がい児と一緒に体を動かせる軽い運動。例えば外に出て日向ぼっこ。
- ころがしドッジボールがしたいです。
- 料理。季節に合ったイベント、例えば10月ハローウィン、12月クリスマス会、1月お正月にする遊び(すごろく・福笑い)
- 遠足など郊外の活動。 ● 学校周辺の探検 ● クッキング、物作り ● ぷち文化祭
- 春にはお花見、秋には紅葉を見に行く。体育館でドミノたおしも楽しいと思う。

### 5. 参加しての感想、ご意見など

- 子供たちとの運動会は楽しいものでした。ボランティアの私の方が遊んでもらっているようでした。ボッチャのルールが分かりにくかったです。
- 私自身初めてでしたのでボッチャとはどのような意味だったのか分からなかったが、競技は少し分かりにくかったように思いましたが…。生徒さん達が楽しんでいたのを見た時、私自身ホッとしました。皆さまよく頑張ったと思います。
- とっても楽しいそして立派な(プチじゃないよ)運動会でした。子供たちの為に一生懸命計画を練られたPTA役員の皆さまお疲れ様でした。勝敗は別として子供さん達の笑顔、大きい声での応援、懸命に車椅子でゴールを目指す姿に思わず「ガンバレー」と大声を出してしまいました。また、ボッチャでは卒業されたK君と再会して何年ぶりに会えた嬉しさと私を覚えていてくれた喜びで胸がいっぱいになった運動会でした。素敵なお出合いに感謝です。ありがとうございました。
- 私は今年の6月に石川総合スポーツセンターで開催されたボッチャ大会に、金沢ふくみ苑の利用者さんと補助で出場した経験がありました。今回のぷち運動会では私自身もボッチャを楽しんでする事ができて良かったです。いい思い出になりました。第4回のボランティアも引き続き参加したいです。
- 初めての楽しい運動会でした。特に若い人が参加していたので余計に面白かったです。私は昨年から参加させて頂いていますが、友達にも参加して頂いて、調査研究助成事業が成功するように願っています。
- 大変有意義な時間でした。PTAの皆さま方をはじめ、ご指導いただいた皆さま有難うございました。一度子供さん達の授業を受けている様子をのぞいてみたいと思っておりますが、いかがでしょうか。無理にとはいいませんが…？
- ボッチャは紅白に分かれ順番に投げた最初のルールだけで良かったですね。2つ目のルールの時は皆さんやる気が失せているように見えました。理解できない児童が何人もいたように感じました。高学年になった久しぶりの生徒が覚えていてくれて大変嬉しかったです。
- 親子で楽しい時間が過ごせました。ありがとうございます。途中でもう少し早く休憩が入るとオムツ交換や水分補給が出来たかと思えます。子供に色々な経験をさせてあげたいので楽しい企画をお願いします。
- とっても楽しかったです。子供だけでなく親も楽しめました。もっとボッチャの楽しさを多くの人



に知ってもらいたいなと思いました。学校の授業でも取り上げてくれれば良いなと思いました。1回だけじゃなく又やってほしいと思いました。

- 盛りだくさんの活動とても楽しかったです。感謝します。ボッチャの時間が長すぎてルールが後半複雑になってくると子どもはちょっと間がもたなかったようです。でも競技そのものはやり易く楽しめるものなので今後も取り入れて欲しいです。様々な人と触れ合う事ができ親子ともどもリフレッシュ出来ました。ありがとうございました。
- ボッチャはボッチャ、ぷち運動会はぷち運動会、今回は別々でも良いような気がした。
- 初めは興味もあって楽しかったのですが、そのうち親も子も疲れてきました。
- ボランティアの方がたくさん参加して下さっていて嬉しく思いました。今回参加された方、以前参加された方、1人の人が何度も参加して、子供たちともっともっと仲良くしてくれるように企画出来たら良いと思います。
- とても楽しかったです。お世話準備などおつかれ様でした。ありがとうございます。
- 玉入れが良かったのに大玉ころがしのチームの方で子どもは怒っていました。ボッチャは個人的には楽しかったのですが、ルールの分からない子供には待つ時間が長かったです。ボランティアのお姉さんが優しい方で子供もずっと手をつないでもらっていて良かった。
- パン食い競争が楽しかったです～By 息子。リレーが楽しかったです～By 娘。
- ボッチャは初めての体験でしたが、楽しめました。  
少し待っている子どもたちが退屈になってきているのが気になりました。
- 最後のリレーは子どもたちが全員参加なのが良かったです。
- ボランティアさんやお母さんたちも応援に力が入って盛り上がってて本当に楽しい内容だったと思いました。参加が出来て良かったです。
- 久しぶりに親子そろってスポーツを楽しむ事ができました。ありがとうございました。
- 玉入れですが、車イスの子どもで玉が投げられない子どもたちは玉入れのカゴが高すぎて参加できていませんでした。さくらスポーツフェスタの時の様にダンボールやカゴを下に置いてそこに入れる形にしていただけたら玉を投げられない子も参加できたと思います。車イスの子の配慮をしていただけますと嬉しいです。
- 兄弟も一緒に運動会に参加しましたが、楽しかったと言っていました。
- ボッチャの競技に初めて参加しましたが、静かな競技でしたね。ルールが分かりますととても集中力が必要だと思いました。ありがとうございました。
- 役員の皆様 ご苦労さまでした。お陰様で子どもはすごく楽しかったようです。ボッチャだけの機会も作っていただけると嬉しいです。
- リレーのとき順番が聞きとりやすく、もう少しゆっくりアナウンスしていただけると良かったです。
- 初めていしかわ特別支援学校のボランティアに参加して、とても雰囲気がよくて生徒の元気な姿に私も元気をもらいました。運動会は準備運動や選手宣誓から始まりどの競技も一生懸命のやっている姿に感動しました。皆様の笑顔がたくさん見れて良かったです。
- すごく楽しい活動ができました。たくさんの生徒さん達に囲まれてワイワイと協力しながら競技をする事によってチームワークも生まれたので、生徒たちも勿論私達も心に残るような経験になった

と思います。

- どの競技もたいへん楽しむ事ができました。何よりも子どもたちのいきいきとした表情が見れたり元気いっぱいの大きな声が聞けたりと、私はとても嬉しかったです。たくさんのパワーをもらいました。子どもたちの笑顔を見るために次回も参加させていただきたいと思います。
- 今回で参加は3回目になります。毎回とても楽しい企画を考えて下さりありがとうございます。子どもたちと密に関わることができてとても良い経験になっています。これからも参加したいと思います。
- 運動会だったのでみんなと協力して活動して楽しかったです。みんなから声掛けてきてくれたので交流しやすかったですし、嬉しかったです。ボッチャが長くて2種目できなくて残念でしたが最後まで頑張って終わる事ができたので良かったです。ありがとうございました。
- 今回初めてこのようなボランティアに参加させて頂いたのですが、とても楽しかったです。子どもたちの笑顔がとても素敵だなと思いました。もっとたくさんの活動があればよいなと思います。
- 普段、あまり関わる事のない障害のある方たちとふれあい、とても学ぶことが多かったです。ボッチャは初めてすることだったのでとても楽しかったです。でも順番などがバラバラでスムーズにはできていなかったと思います。大人だけがボッチャ体験をしている時に子どもたちはつまらなそうにしていたので応援するなどしたら良かったのでは、と感じました。みんなとても素直でまっすぐなので可愛かったです。私が担当した子はお母さんにべったりでしたが話しかけると答えてくれて最後に「バイバイ」と言うと、目を見て「バイバイ」と答えてくれて嬉しかったです。
- みんなとてもフレンドリーで輪の中に入り易かったです。サポートというより一緒に動くという感じで楽しかったです。



## 第4回 【ミュージック・ケア&音楽会】

### ◆活動内容

日 時	10月23日(土曜日) 9:30am~11:30am																														
参加ボランティア	15名……地域9名/学生1名/教育活動支援委員5名																														
参加児童生徒・家族	42名(26家族)…肢体不自由教育部門 12名/知的障害教育部門 11名/きょうだい 5名/保護者 14名																														
準備係PTA役員・教活委員	3人																														
ペア	・ボランティア2・子ども1の 3人ペア…2ペア ・ボランティア・子どもの 2人ペア…12ペア ・保護者・子どもの 2人ペア…12ペア																														
≪ペア表 8:30~9:15≫ <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">託児係</th> <th colspan="3">託児利用の子ども</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表(役員)</td> <td>たつや</td> <td>なおや(きょうだい)</td> <td>せいや(きょうだい)</td> </tr> <tr> <td>村上(役員)</td> <td>ゆい</td> <td>たかまさ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石田(役員)</td> <td>ひろまさ</td> <td>ゆうり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中田(教活委員)</td> <td>さき</td> <td>けんし(きょうだい)</td> <td>ゆり</td> </tr> <tr> <td>北村(教活委員)</td> <td>こはる</td> <td>ゆうこ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>天田(教活委員)</td> <td>ゆうや</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				託児係	託児利用の子ども			表(役員)	たつや	なおや(きょうだい)	せいや(きょうだい)	村上(役員)	ゆい	たかまさ		石田(役員)	ひろまさ	ゆうり		中田(教活委員)	さき	けんし(きょうだい)	ゆり	北村(教活委員)	こはる	ゆうこ		天田(教活委員)	ゆうや		
託児係	託児利用の子ども																														
表(役員)	たつや	なおや(きょうだい)	せいや(きょうだい)																												
村上(役員)	ゆい	たかまさ																													
石田(役員)	ひろまさ	ゆうり																													
中田(教活委員)	さき	けんし(きょうだい)	ゆり																												
北村(教活委員)	こはる	ゆうこ																													
天田(教活委員)	ゆうや																														
≪ペア表 9:30~11:30≫ ~太字は課題①②③~ <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>T君→Nさん(学生ボ)</td> <td><b>Yさん→Fさん(地域ボ)</b></td> <td>H君→Sさん(地域ボ)</td> </tr> <tr> <td><b>Sさん→Yさん(地域ボ)</b></td> <td>K君→Nさん(教活委員)</td> <td>K君→Nさん(教活委員)</td> </tr> <tr> <td>N君→Nさん(教活委員)</td> <td>Y君→Nさん(地域ボ)</td> <td>Kさん→Yさん(地域ボ)</td> </tr> <tr> <td>Yさん→Hさん(地域ボ)</td> <td>Yさん→Mさん(地域ボ)</td> <td>Rさん→Nさん(地域ボ)</td> </tr> <tr> <td colspan="3"><b>Nさん→Kさん(地域ボ) / Aさん(教活委員)</b></td> </tr> <tr> <td colspan="3">T君→Oさん(役員) / Kさん(教活委員)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">保護者(役員以外) &amp; 子供のペア…12家族</td> </tr> </tbody> </table>				T君→Nさん(学生ボ)	<b>Yさん→Fさん(地域ボ)</b>	H君→Sさん(地域ボ)	<b>Sさん→Yさん(地域ボ)</b>	K君→Nさん(教活委員)	K君→Nさん(教活委員)	N君→Nさん(教活委員)	Y君→Nさん(地域ボ)	Kさん→Yさん(地域ボ)	Yさん→Hさん(地域ボ)	Yさん→Mさん(地域ボ)	Rさん→Nさん(地域ボ)	<b>Nさん→Kさん(地域ボ) / Aさん(教活委員)</b>			T君→Oさん(役員) / Kさん(教活委員)			保護者(役員以外) & 子供のペア…12家族									
T君→Nさん(学生ボ)	<b>Yさん→Fさん(地域ボ)</b>	H君→Sさん(地域ボ)																													
<b>Sさん→Yさん(地域ボ)</b>	K君→Nさん(教活委員)	K君→Nさん(教活委員)																													
N君→Nさん(教活委員)	Y君→Nさん(地域ボ)	Kさん→Yさん(地域ボ)																													
Yさん→Hさん(地域ボ)	Yさん→Mさん(地域ボ)	Rさん→Nさん(地域ボ)																													
<b>Nさん→Kさん(地域ボ) / Aさん(教活委員)</b>																															
T君→Oさん(役員) / Kさん(教活委員)																															
保護者(役員以外) & 子供のペア…12家族																															
活動場所	小体育館 プレイルーム																														
準備したもの	・前日にセッティング…電子ピアノを運ぶ、マット 10 枚を敷く、シャボン玉用意、マイク準備 ・CD、お土産、お茶、紙コップ																														
活動内容	・講師によるミュージック・ケア。しゃぼん玉、鈴、スーパー袋などを使ったり、バルーンを使 ったの音楽療法。ピアノ生演奏に合わせての合唱。																														
前回の反省点 改善した事	・8:30~9:15の間のペアをきっちり決めた。知的障害教育部門の手のかかる子どもには、 知的障害教育部門の保護者を担当にした。目を離さず託児をした。 ・9:30からの活動においては、手のかかる知的障害教育部門の子どもには、ボランティア と託児係の役員が教育活動支援委員を担当にし、1人の子どもを2人が担当した。 ・フリーで動ける役員・教育活動支援委員を2人決めておいた。緊急事態に備えた。																														

<p>全体の活動で良かった事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マットを敷いたので、車椅子の子どもはその子の楽な姿勢で活動できた。</li> <li>・参加出来ない子どもが5人いた。その内3人は保護者同伴2人は地域ボランティアが託児をしていた。地域ボランティア2人の代わりにフリーの役員2人が託児を引き受け、ボランティアにはミュージック・ケアに参加して頂いた。とても喜ばれた。</li> </ul>
<p>体の活動で反省点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パニックになって自傷行為を続ける子どもがいた。地域ボランティアと教育活動支援委員が担当していたが途方に暮れていた。託児リーダーがその事に気がつき、自分の担当の子どもをもう1人のフリーの役員に頼み、役員会会議にでている保護者を呼びにいった。母親に来てもらい子どもの状態を見てもらった。パニックになった原因が解明したので少し落ち着き、保護者は会議に戻る事が出来た。・ミュージック・ケアに参加できない子どもが5人もいた。5人とも知的障害教育部門の子どもだった。5人の内、今回初めて参加した子は3人、経験がある子は2人だった。2人は途中で帰った。3人はプレイルームで過ごしたり学校内を散歩していた。理由は想像ではあるが、①休日に学校へ来る意味がわからない②プレイルームで好きなビデオを見る事が出来なかった③集団に入り込めない、など。このような場合に備えての、控室のプレイルームの充実が以前からの課題であったのに改善されていなかった。</li> <li>・前回改善点で10分以上の休憩をとる、と決めていたのに実行できなかった。講師の方にはお願いしてあったのだが、全体の休憩は取らずに「自由に休憩して下さい」と案内したために、タイミングを外して休憩できなかった保護者がいたようだ。</li> <li>・やはり全体の休憩があった方が良く思う。講師との打ち合わせが必要。</li> <li>・活動に参加できなかった5人の内、2人はプレイルームへ誘導し対応出来たのだが、残りの3人には声をかけただけで何もしてあげられなかった。保護者同伴だったものの、もう少し適切な対応をしてあげたかった。無理せず途中で帰ってもよいという事を伝えれば、保護者も気が楽だったのではないだろうか…。</li> </ul>
<p>改善点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の反省点でもあるが、活動に参加できない子どもの為の過ごし方の工夫をしておく。まずは、控えの場所であるプレイルームに、DVDが見れたり音楽が聞けたり出来るようにしておく。しゃぼん玉や風船の準備も良いと思う。肢体不自由教育部門の為にマットを敷いておく。</li> <li>・なかなか各自で休憩を取りにくいので、全体の休憩時間を設ける</li> <li>・活動に参加できず、子どもにとって苦痛を感じ始めた場合は、途中で帰っても良いという事にしてはどうか。</li> </ul>

◆課題①②③

①…Yさん(肢体不自由教育部門 小学部)

問題行動	・車椅子から降りてマットの上でミュージック・ケアに参加していたが、その内ずりばいや転がりながら移動しはじめる。ボランティアは見守っていたが余りにも移動したので抱っこしてマットの上まで連れ戻していた。しかし何回も続くので、途中からプレイルームへ移動し気分がかわるまで遊んでいた。ボールプールのボールをよく投げていた。他の児童とお話しながら過ごしていた。気がすんだ頃にミュージック・ケアに戻ったが、今度は電子ピアノを触りたくて又ずりばいしたり転がったりしながら動き出した。ボランティアはYさんの好きなようにと、暫くピアノの前に座らせていた。
反省点	・ボランティアが大変そうだったのに声かけが遅すぎた。「代わりに担当しますのでミュージック・ケアに参加してください」と声かけた時にはボランティアはかなり疲れていた。保護者はカメラ係をしていて近くにいたので、速やかに交代してボランティアに負担をかける様子をすれば良かった。
改善点	・ペア決めの段階で、Yさんに限らず子どもの性格・行動パターンを熟知する中で、特にA部門の子どもは手がかからない、と思いきものは間違い。A部門の子どもでも行動範囲の広い活発な子どもも居るので、ペア選びには、出来るだけ相性の良いボランティアを担当にする。その事でかなりの改善につながると思う。

②…Sさん(知的障害教育部門 中学部)

問題行動	・Sさんは普段はほとんど1人で行動できて理解力のある生徒であり、ミュージック・ケアに参加できなかった事は予想外であった。授業等でミュージック・ケアは取り入れているにも関わらず、参加できなかった事は残念だった。Sさんは特に迷惑をかけることなくプレイルームへ移動して他の子ども達と時間を過ごしていた。
反省点	・Sさんがなぜ参加できなかったのかは分からない。音響もそれほど大きくなく、人数も70名程度で多くもなかった。
改善点	・活動に参加できない子どもはプレイルームに集まる事にする。プレイルームは複数の子どもが退屈しないで過ごせるようにDVDやCDを必ず用意しておき、常に2人以上の託児担当役員・教育活動支援委員を置く。 ・活動に参加できない子どもの担当ボランティアは、余り無理をせずに子どもをプレイルームに連れて行く。ボランティアにはなるべく活動に参加してもらうようにする。

③…Nさん(知的障害教育部門 高等部)

問題行動	・Nさんは朝から機嫌が悪かった。お気に入りのCDを家から持って来なかった事にいら立ち始めた。次は学校内の図書室にあるお気に入りのDVDを見たい気持が高まり、その題名を繰り返し叫びながら自傷行為が止まらなくなった。Nさんの託児は地域ボランティアと教育活動支援委員が2人で見守っていたが、手におえなくなり役員会に出席している保護者を呼んだ。DVDは見られなかったがジブリシリーズのCDをかけると落ち着いた。
反省点	・保護者を呼ぶのが遅すぎたと思う。ボランティアは判断するのが難しいので、やはり全体を見守るフリーの担当が必要。また、フリーの担当者で連絡が取れるように置く事が必要



## ◆アンケート回答(10人中8人)

### ●ミュージック・ケア音楽会について

#### (1)～(3)について

- ・ミュージック・ケアとはどんなものか知っていたボランティアは3人、その2人とも経験したことがあった。知らなかったボランティアは5人で、その内経験して分かった人が1人、だいたい分かった人4人、という結果だった。

#### (4)について

- ・音楽は心を和ます不思議な力がありますね。自然に手足がリズムを取り、年甲斐もなく踊ったり跳ねたり。次の日、足腰は…というと全然大丈夫でしたよ。ピアノの演奏は優しい気持が伝わってきて懐かしい歌に単純な私は思わずホロリ。
- ・音楽にあわせて手足を動かすと気持が良くなるといった様な事でしょうか。年齢や性別の違いがあるなど感じました。
- ・ピアノに合わせて歌ったりカスタネットを鳴らしたり、とても気持ちが浮き浮きして子供さん達の声も聞けて大変良かったと思いました。
- ・レクレーション活動の参考になりました。施設に就職した際にも使えると思いました
- ・子供達はミュージックがある事によって、いつもよりリラックスして楽しく活動しているので、初めてのお子さんにも直ぐに心を開いて頂き託児がとても良かったです。
- ・心楽しく体を動かす事で心身とも柔らかくなり素晴らしいケアと思いました。これからももっとこのケアを取り入れて欲しい。
- ・鳴子を打ちならして楽しそうに体を動かす子供達が見れて大変嬉しかったです。唄えなくても穏やかに「赤トンボ」の歌を聞いている子供達に胸が熱くなりました。
- ・知的障害のお子様にはよかったのでは…。肢体不自由のお子様には少し問題があったのでは？

### ●託児ボランティアについて

#### (1)について

A…2人 B…4人 C…2人 D…2人(お任せします/子供達にとって一番良いのに合わせます)

#### (2)について

- ・目を離すと自分勝手な行動をとる事
- ・創立した時から参加しておりますので障害をもったお子さんには特別困った事はありません。かえって自分の方が元気をもらってます。
- ・中3年男子は思春期の中、性的行動も見られる。人前だからと抑制も出来ない。意識を音楽の方に向けようとしても、好きな音楽でないのか自分の世界に入ってしまい・・・困った。
- ・目が離せないお子さんが多いですね。私より体が大きく力のある子供さんは、やっぱり若くて大きいお兄さんお姉さんに託児をお願いしたいと思います。
- ・確かに多動で目が離せないお子様は負担に感じますね…。自分に体力があれば何とも感じないかもしれませんが…。

#### (3)について

- ・託児期間中に、給水をいつ頃しようかなあ、と時々迷う事があります。



- ・感情の出せない子供さん達に接すると、これで楽しいのかな、これで良いのかしら？と悩む事があります。少しでも顔や声の変化を見つけて「あっ喜んでくれてるぞ！」とか「楽しそうな顔してる！」と自己満足しています。必ずPTAの方達も一緒なので、あまり困った事は今までありません。
- ・何時も感じるのですが、のどが渴いている様子ですが、水分をあげられないのが困りますね…。



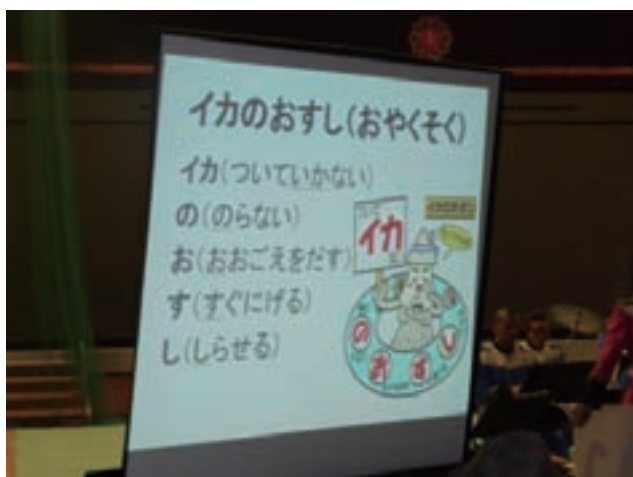


## 第5回 【防犯講座 & 警察音楽隊】

### ◆活動内容

日時	11月27日(土曜日) 9:30am~11:30am		
参加ボランティア	20名……地域12名/学生0名/教育活動支援委員8名		
参加児童生徒・家族	89名(38家族)……肢体不自由教育部門17名/知的障害教育部門17名 きょうだい11名/保護者44名		
準備係PTA役員・教活委員	18人		
ペア	今回は、ボランティア全員にじっくり防犯講座を聞いてもらう事にした。その為、9:30~11:30の間、託児ペアを決めなかった。その代わりに、体育館に居られない子や活動に参加できない子をプレイルームに集め、常に2人以上の役員、又は教育活動支援委員が待機し託児・見守りをした。		
≪ペア表 8:30~9:15≫		≪プレイルーム待機 9:30~11:30≫	
託児係	担当の託児利用の子ども		
表(役員)	けいすけ	ももこ	9:15~10:00 表、虎谷
村上(役員)	ゆい	しゅん(きょうだい)	10:00~10:30 表、高枝
岡田(役員)	たかまさ	ことこ(きょうだい)	10:30~11:00 表、地井
米澤(役員)	たつや	なおや(きょうだい) せいや(きょうだい)	11:00~11:30 表、木下
多田(教活委員)	しゅんすけ	ゆうか(きょうだい)	
目木(教活委員)	そういちろう	かよ	
地井(教活委員)	けんた	はるか	
荒井(教活委員)	のぼる	ともや	
活動場所	大体育館 プレイルーム		
準備したもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前日にセッティング…大体育館に椅子を80並べる。音楽隊の椅子も30並べる。マット 6枚敷く。スクリーン、プロジェクターのセット。マイクの用意。音響、照明の確認・チェック。</li> <li>・講師、音楽隊の方々の控室の準備。</li> <li>・プレイルームにマットを敷き、TVを運ぶ。図書室から、本・CD・DVDをかりておく。</li> <li>・CD、お土産、お茶、紙コップの準備。</li> </ul>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師による防犯講座と、警察音楽隊の生演奏が交互になされ、子ども達は退屈する事無く座って聞く事ができた。</li> <li>・子どもたちの指揮者体験があり喜ばれた。</li> <li>・アンコール演奏を含め1時間30分以内で終わった。丁度良い時間帯だった。</li> </ul>		
前回の反省点で改善した事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館での活動に参加出来ない子はプレイルームで託児をした。託児担当を2名決めておいた。状況によっては1人で、又は3~4人で対応する事にした。保護者には前もって「プレイルームでも託児をします、都合が悪くなったら連れて来て下さい」と伝えた。</li> <li>・プレイルームにTVを置きDVDを2本上映した。CDも用意した。</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8:30～9:15の間、プレイルームでアンパンマンのDVDを上映したことにより、多動な子どもたちが見ていてくれた。この時間帯は、託児係りが手薄なのでとても助かった。</li> <li>・DVDを夢中で見ていた子どもたちが、スムーズに体育館へ移動するか心配だったが、2人以外はスムーズに移動した。</li> <li>・生演奏の迫力ある音響が苦手な子どもが1人いて、すぐにプレイルームへ戻って来たが、DVDを見ながら落ち着いて過ごす事ができた。託児係りに任せて保護者は体育館へ戻って防犯講座を聞く事が出来た。</li> </ul>
全体の活動で反省点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館がとても寒かった。本校教頭が開始2時間前に暖房のスイッチを入れてくれたが、トラブルがあり開始後1時間も暖まらなかった。1時間も寒い体育館に座っていることは、参加者にとっても講師・音楽隊の方々にとってもつらい事だった。何か対応できる事はなかったか、今後の課題。せめて肢体不自由教育部門の体の弱い子どもに防寒対策をしてあげたかった。</li> <li>・椅子の数が足りなくて役員は座れなかった。</li> </ul>
改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒い時期での活動は、使用場所を考えて活動内容を決めるようにする。</li> </ul>



## 第6回 【おたのしみ茶話会】

### ◆活動内容

日時	2月19日(土) 9:30am~11:30am																																						
参加ボランティア	22名……地域14名/学生3名/																																						
参加児童生徒・家族	14名……肢体不自由教育部門6名/知的障害教育部門6名/きょうだい2名																																						
準備係PTA役員・教活委員	5人																																						
ペア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア1・子供1の2人ペア…10ペア</li> <li>・ボランティア2・子供1の3人ペア…4ペア</li> </ul>																																						
ペア表	<p>≪ペア表 8:30~9:15≫</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>託児係</th> <th colspan="3">託児利用の子ども</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表(役員)</td> <td>たかし</td> <td>よしたか</td> <td>ひろまさ</td> </tr> <tr> <td>西島(役員)</td> <td>ゆい</td> <td>たろう</td> <td></td> </tr> <tr> <td>米澤(役員)</td> <td>たつや</td> <td>なおや</td> <td>せいや</td> </tr> <tr> <td>中村(教活委員)</td> <td>かずま</td> <td>りょうたろう</td> <td>ゆうや</td> </tr> <tr> <td>西出(教活委員)</td> <td>りり</td> <td>こはる</td> <td>あやり</td> </tr> </tbody> </table> <p>≪ペア表 9:30~11:00≫</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>R君→Kさん(地域)/Tさん(地域)</td> <td>Y君→Oさん(学生)</td> </tr> <tr> <td>T君→Yさん(役員)</td> <td>N君→Oさん(役員)</td> </tr> <tr> <td>S君→Sさん(学生)</td> <td>Y君→Yさん(地域)</td> </tr> <tr> <td>H君→Nさん(学生)</td> <td>T君→Oさん(地域)</td> </tr> <tr> <td>Kさん→Nさん(地域)/Sさん(地域)</td> <td>Yさん→Sさん(地域)/Hさん(地域)</td> </tr> <tr> <td>Rさん→Sさん(地域)/Hさん(地域)</td> <td>T君→Yさん(地域)</td> </tr> <tr> <td>K君→Nさん(地域)/Mさん(地域)/Kさん(地域)</td> <td>Aさん→Nさん(役員)</td> </tr> </tbody> </table>	託児係	託児利用の子ども			表(役員)	たかし	よしたか	ひろまさ	西島(役員)	ゆい	たろう		米澤(役員)	たつや	なおや	せいや	中村(教活委員)	かずま	りょうたろう	ゆうや	西出(教活委員)	りり	こはる	あやり	R君→Kさん(地域)/Tさん(地域)	Y君→Oさん(学生)	T君→Yさん(役員)	N君→Oさん(役員)	S君→Sさん(学生)	Y君→Yさん(地域)	H君→Nさん(学生)	T君→Oさん(地域)	Kさん→Nさん(地域)/Sさん(地域)	Yさん→Sさん(地域)/Hさん(地域)	Rさん→Sさん(地域)/Hさん(地域)	T君→Yさん(地域)	K君→Nさん(地域)/Mさん(地域)/Kさん(地域)	Aさん→Nさん(役員)
託児係	託児利用の子ども																																						
表(役員)	たかし	よしたか	ひろまさ																																				
西島(役員)	ゆい	たろう																																					
米澤(役員)	たつや	なおや	せいや																																				
中村(教活委員)	かずま	りょうたろう	ゆうや																																				
西出(教活委員)	りり	こはる	あやり																																				
R君→Kさん(地域)/Tさん(地域)	Y君→Oさん(学生)																																						
T君→Yさん(役員)	N君→Oさん(役員)																																						
S君→Sさん(学生)	Y君→Yさん(地域)																																						
H君→Nさん(学生)	T君→Oさん(地域)																																						
Kさん→Nさん(地域)/Sさん(地域)	Yさん→Sさん(地域)/Hさん(地域)																																						
Rさん→Sさん(地域)/Hさん(地域)	T君→Yさん(地域)																																						
K君→Nさん(地域)/Mさん(地域)/Kさん(地域)	Aさん→Nさん(役員)																																						
活動場所	さくら棟(本校生活訓練棟)																																						
準備したもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュース、お茶、コーヒー、お菓子、ケーキ、</li> <li>・コーヒーメーカー、ポット、紙皿、紙コップ、お盆</li> <li>・プレゼント…高等部手作り品(コーヒーカップ、皿)</li> </ul>																																						
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前半は、読み聞かせボランティアの活動をしていらっしゃる本校事務長による紙芝居と、趣味が高じてプロ級の腕前だと評判の本校教諭による手品ショーで楽しんだ。</li> <li>・後半は茶話会を行った。ケーキやお菓子、コーヒー、飲み物を頂きながら、1年を振り返り語り合った。茶話会後半、子供達はDVDカラオケで楽しんでいた。</li> </ul>																																						
前回の反省点で改善した事	紙芝居、手品ショーと静かに座っての活動だったので、退屈を感じる生徒、特に知的障害教育部門の生徒の為に、DVDカラオケを用意しておいた。茶話会である程度満腹になった子ども達は、自由に歌ったり踊ったり楽しんでいた。																																						

<p>全体の活動で良かった事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規のボランティア5人を紹介して頂き、参加頂いた。地域から3名、学生が2名で次年度も継続して参加したいとの事。この活動の輪が確実に広がっている、と手ごたえを感じた。</li> <li>・子ども達は皆落ち着いていた。特に知的障害教育部門の子ども達は、今までの5回の経験から活動の見通しを立てる事が出来たのだと思う。又、活動場所がリラックスできる生活訓練棟だった事も要因だと思う。とにかく部屋を出て行く子どもは1人も居なかった。</li> </ul>
<p>全体の活動で反省点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙芝居、マジックショーの舞台を考えていなかった。舞台を少し高くしておけば後ろの席から見やすかったと思う。立って観賞するボランティアが数名いたが、楽しくて夢中で見ていたので1時間はあっという間だったとの事で安心した。</li> <li>・座席数が足りなかった。テーブル、椅子を調達しておくべきだった。畳のスペースも開放すれば良かった。</li> </ul>



手品ショー



紙芝居



地域ボランティアさんと…



学生ボランティアさんと…

## おわりに

ボランティア養成講座が始まって5年目になります。この節目の年に、調査研究助成事業の指定を受けた事は、この活動の意味について考え直し、又、計画を立て直す良い機会となりました。ここに、全国に向けて活動報告が出来ますことは、何よりも、参加頂きましたボランティアの皆さまのご協力があったこそ、成し遂げられたことと感謝の気持ちでいっぱいです。そして更には、企画、準備、運営にあたり、知恵を出し合い協力しあったPTA役員の皆さん、託児のお手伝いをしてくれた教育活動支援委員の皆さん、また休日にもかかわらず、学校内施設を開放していただき協力をして下さった先生方、本当に有難うございました。

活動報告にあたり、ボランティアの方々、参加して頂いた保護者の方々に、アンケートのご協力をして頂きました。聞かなければ気がつかなかった様々な課題が浮かび上がりました。1回の活動を終える毎に反省をし改善をし、次の活動へと繋げるものにする事ができました。

この活動を通じて、多くの方々に障がい児のことを理解いただき、その上で、地域余暇活動を支えるボランティア等の理解者、協力者を養成していきたいと思えます。

そして障害の有無に関わらず、共に理解し皆が心豊かな生きがいのある地域生活の創造を目指していけるよう、今後もより一層の努力をしていきたいと思えます。

# 障がい種を越えたPTAの連携

～PTAが主体となって取り組んだ就労促進セミナー～

鳥取県立米子養護学校PTA

## 目 次

### 「障がい種を越えたPTAの連携」 ～PTAが主体となって取り組んだ就労促進セミナー～

- 1 はじめに
- 2 鳥取県特別支援学校就労促進セミナー
  - (1) 就労促進セミナーとは
  - (2) 昨年度の取り組み
    - ① 参加企業の呼びかけ兼職場開拓
    - ② 当日の内容
    - ③ セミナーの成果
- 3 本年度の取り組み
  - (1) PTAの連携を深める
    - ① PTA学校間交流
    - ② PTAサポート部の新設
    - ③ 地域への啓発活動
  - (2) 実行委員会の設立
  - (3) セミナー当日の様子
  - (4) 参加人数
  - (5) アンケート結果
  - (6) 成果と課題
- 4 おわりに



# 「障がい種を超えたPTAの連携」

## ～PTAが主体となって取り組んだ就労促進セミナー～

鳥取県立米子養護学校PTA

### 1 はじめに

本校は小学部・中学部・高等部があり、それぞれ43名・53名・127名、計223名の児童生徒が在籍しており、特に高等部生徒数は増加傾向にある。

本県は人口が59万人と全国で最も少ない県である。それに比例し、企業数も少ない。平成21年度の障がい者雇用率は1.78%と全国平均(1.63%)は上回るものの法定雇用率には達成していないのが現状である。大企業は少なく、そのほとんどが中小企業である。近年、障がい者の雇用、体験学習等への理解を示していただける企業も増えてきたが、全体からするとごく一部にとどまっている。

また、当事者本人、保護者の一般就労に対する意識も低く、潜在的な能力があるにも関わらず、卒業時の一般就労を目指していない生徒も多い。そのような中で、本校と皆生養護学校(肢体不自由)、鳥取聾学校ひまわり分校とともに特別支援学校就労促進セミナーを開催することにより、当事者本人、障害者雇用・就労に関わる企業の意識を高めていく活動を行っている。

鳥取県の特別支援学校PTAの活動としては以前より知的障がい教育校4校間での連携(鳥取県知的障がい教育校PTA連合会)はあったが、平成21年度より鳥取県特別支援学校PTA連合会を立ち上げ、障がい種を超えた連携を図っており、本県初の高等特別支援学校設立の推進力の役割を果たした。

### 2 特別支援学校就労促進セミナー

#### (1) 就労促進セミナーとは

鳥取県では特別支援学校高等部生徒の一般就労は依然として厳しい状況が続いている。そのような状況下において、本校PTAが主催する(皆生養護学校、鳥取聾学校ひまわり分校共催)本セミナーでは、当事者本人、障がい者雇用・就労に関わる企業、卒業生、支援者など、それぞれの立場から障がい者の就労促進について、現状や思いを発表することで、参加者全員が障がい者の就労について理解を深め、就労促進について考える機会である。

#### (2) 昨年度の取り組み 開催日平成21年10月27日(火)

本校と皆生養護学校が一緒になって開催するようになって2年目の年。

##### ① 参加企業呼びかけ兼職場開拓

皆生養護学校と本校職員で夏季休業中に200企業訪問を行う。保護者も職場開拓を行う予定だったが、新型インフルエンザの影響で活動を縮小。

##### ② 当日の内容

皆生養護学校生徒も来校し参加の予定であったが、新型インフルエンザの影響で不参加。意見発表を行う予定であった生徒についてはビデオ参加となった。

ア 本校高等部作業学習の紹介及び学習公開

イ 生徒意見発表〔本校生徒3名、皆生養護学校生徒2名(ビデオ参加)〕

ウ パネルディスカッション

一般就労している卒業生、雇用企業の方とのパネルディスカッション



### ③ セミナーの成果

特に働いている先輩の言葉に心を動かされた生徒が多く、就労促進セミナー以降就労意欲が高まり、実際に企業での就労に結びついた生徒がいた。

保護者においては学校に任せきりではなく、保護者自身も積極的に行動していくことで子ども達の将来が開けるということを実感された。



県立皆生養護学校生徒ビデオ参加の様子



白熱のパネルディスカッション



多くの方に参加していただきました

## 3 本年度の取り組み

### (1) P T Aの連携を深める

#### ① P T A学校間交流

本校と県立皆生養護学校のP T A執行部、人権教育推進部を中心として学校見学・授業参観等の交流を行い、お互いの生徒の障がい特性を理解し合う。そしてお互いが力を合わせて就労促進セミナーの参加企業呼びかけ兼職場開拓、企業啓発などを行う。

#### ② P T Aサポート部新設

P T A組織の中にサポート部を新設し、保護者に対して各支援機関の活用方法、生徒へのサポート方法の知識を身につけていただく機会、生徒の就労能力、意欲を高める支援を展開するための研究会を持ち保護者のモチベーションの向上を図りたい。

### ③地域への啓発活動

地域の学校（小、中、高）との人権教育、学校行事等相互参加など児童生徒交流学習だけでなく、PTA間の交流も盛んになっており、それが啓発活動にもつながっている。

また、地域のボランティア活動にもPTA組織で積極的に参加している。

## (2) 実行委員会の設立

- |        |                               |
|--------|-------------------------------|
| ○実行委員長 | 本校PTA会長                       |
| ○副委員長  | 県立皆生養護学校 PTA会長                |
| ○実行委員  | 本校PTA執行部（11名）鳥取聾学校ひまわり分校PTA会長 |
|        | 本校教頭 県立皆生養護学校教頭 本校事務長 計17名    |

### ①第1回実行委員会

- |       |                                                                                                                |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○期日   | 5月31日（月）9:30～11:30                                                                                             |
| ○場所   | 県立米子養護学校 応接室                                                                                                   |
| ○協議内容 | <ul style="list-style-type: none"><li>・就労促進セミナーの概要説明</li><li>・調査研究助成事業について</li><li>・セミナー開催までの日程 ※別紙1</li></ul> |

昨年度の反省から、夏休み明けての9月17日（金）を開催日に決定し、それに向けての準備等を話し合う。本番までの期間から考えると、実行委員会は月1回は必要であると考え具体的な開催期日を第1回目の実行委員会で決定する。昨年度新型インフルエンザで参加できなかった県立皆生養護学校のPTAは、昨年度の分も頑張ろうととても意欲的であった。



<第1回実行委員会の様子>

### ②第2回実行委員会

- |       |                                                                                                                        |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○期日   | 6月24日（木）10:00～12:00                                                                                                    |
| ○場所   | 県立米子養護学校 応接室                                                                                                           |
| ○協議内容 | <ul style="list-style-type: none"><li>・実施内容</li><li>・役割分担 ※別紙2</li><li>・ポスター、チラシ ※作成については、県立皆生学校の高等部生徒が担当する。</li></ul> |

## ②第3回実行委員会

○期 日 7月8日(木) 10:00～11:00

○場 所 県立米子養護学校 応接室

○協議内容

・就労促進セミナー実施開催要項 ※別紙3

・各係打合せ

<案内について>

ポスター、チラシの配布計画 ※7/16(金)までに印刷完成

※夏季休業中に配布

<パネラー取材と打合せ>

卒業性、保護者、事業所と取材日を決めて出かける。その後、コーディネーターと打合せをして本番を迎える。

## ③第4回実行委員会

○期 日 8月31日(火) 13:00～14:30

○場 所 県立米子養護学校 応接室

○協議内容 ・各係の最終打合せ 当日の動き ※別紙4



【 最終打合せ会の様子 】



(3) セミナー当日の様子



【 受付玄関入口 】



【 早朝の最終チェック 】



【 松下実行委員長のあいさつ 】



【 熱心に聞き入る参加者 】



【 生徒の意見発表 】



【 意見発表前の生徒・・・緊張 】





【パネルディスカッション】



【会場参加者との意見交換】



【休憩時間のアトラクション（高等部の合唱）】

(4) 参加人数

参加者名	人数
一般企業	10
就労支援事業所	5
行政	13
保護者	23
一般参加者	5
特別支援学校職員	6
県立米子養護学校生徒	135
〃 職員	50
皆生養護学校生徒	5
〃 職員	8
県立米子養護学校PTAスタッフ	50
皆生養護学校PTAスタッフ	11
パネラー・コーディネーター	10
合計	331

(5) アンケート結果 ※アンケート用紙 別紙5

※感想については、主なものを記載

<平成22年度鳥取県特別支援学校就労支援セミナー参加者アンケート結果>

\*該当項目の○をつけてください。

あなたの所属は ※(5)の参加人数にて掲載

- |            |                       |
|------------|-----------------------|
| ① 企業       | ② 就労支援関係機関            |
| ③ 行政       | ④ 保護者(本校・皆生・ひまわり分校・他) |
| ⑤ 特別支援学校職員 |                       |

1 このセミナーをお知りになったきっかけについて  
(複数回答可)

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 米子養護学校、皆生養護学校からの案内 | 45名 |
| ② PTAからの案内           | 13名 |
| ③ ポスター、チラシを見た        | 9名  |
| ④ 米子養護学校ホームページ       | 3名  |
| ⑤ その他( )             | 3名  |

2 今回のセミナーで、良かったと思われた内容について(複数回答可)

- |                             |     |
|-----------------------------|-----|
| ① 米子養護学校高等部、皆生養護学校の学習の紹介、公開 | 17名 |
| ② 障害者雇用の制度や支援についての情報提供      | 21名 |
| ③ 生徒の意見発表                   | 38名 |
| ④ パネルディスカッション1(卒業生・保護者)     | 33名 |
| ⑤ パネルディスカッション2(企業)          | 29名 |
| ⑥ その他( )                    | 1名  |

4 今後に向けて、会の内容についてのご意見やこのセミナーに参加されてのご感想をお書きください。

○生徒の働く意欲が伝わって来ました。しかし、現実の壁は厚いことも分かりました。もっと広く企業がこの会に参加され、自分の会社でどうやったら雇用が出来るかを考える。そんな場になったら良いなと思いました。企業が採用したいと思える場となることを祈ります。

○午後のみの参加です。働きたいという気持ちがとても伝わってきました。ありがとうございました。先生方、保護者の方とても一生懸命考えておられると思います。が、一生懸命なため守られすぎているような気もしました。一般就労…一般は大変厳しいところです。上手に自立出来るような指導を行って欲しいと思います。

- 発表された生徒さんは皆さん立派で感心しました。また、本当に純真なハートが伝わってきて感動しました。親子関係のすばらしさも、うらやましい程です。午後のみの参加。企業の思いが分かった。同じ知的障がいの学校として、本当に県米、皆生養護の堂々とした発表に驚きました。ステキな歌声でした。立派におおくの人の前で発表する姿に感動しました。人の前に立って、自分の思いを伝えられる生徒「〇〇したい」ところざしが言える生徒を育てなければと思いました。すばらしい会を学校で伝えたいと思います。学ぶことばかりでした。
- 学校入学が目標でなく、ここから卒業してその先の出口です。”働く”目標を持って3年間学んできた子どもたちが何とか就労できるよう祈ってやみません。自分もまた、彼らの可能性をつないでやる為できることをしてやりたいと思います。
- PTA主催で、これだけ大きな会を開催されるのがすごいと思いました。子どもたちの”働きたい”という生の声が聞けたのが良かったです。もっとたくさんの企業や事業主の方々に、子どもたちの声を聴いていただきたいと思いました。卒業生や卒業された保護者のディスカッションも良かったです。是非、毎年続けて欲しいと思いました。
- ハローワークや職業センターの方の話聞くことができ良かった。学校公開で子どもたちの作業を見ることができよかった。皆生養護さんのカフェへも行かせてもらいましたが、せまい場所での活動で大変そうに思いました。生徒の意見発表で、働きたい。という思いがよく伝わりました。卒業生、保護者の話の話を聞かせてもらい、自分ももっと勉強していけないととあらためて思いました。実際に働いている企業の方の話も聞かせて頂き良かったです。今日は、良い勉強をさせていただきありがとうございました。

## (6) 成果と課題（実行委員のアンケートから主なものを抜粋）

### ① 成果

- 多くの方にスタッフとして携わっていただき、分担した仕事を頑張ってやっていただけたと思う。事前の準備から当日の役割と、計画を立てて分担し、細かく決めていたため、当日慌てることもなくスムーズに出来たのではないと思う。アンケート結果からも、「良かった」という声を多く聞くことが出来た。私自身会場内での記録係だったため、中の様子はずっと見せてもらい記録しながらも勉強になった。
- 今までこのような大きなセミナーの企画運営に携わる機会がなかったので、当日まで準備の綿密さに驚きつつ、流れを知ることができとても勉強になりました。受付係は、顔と名前を知る大きなチャンスであり、挨拶を交わすだけでも支援してくださる方や同じく頑張っておられる家族の存在やあふれる気持ちに気づくことができました。「自分一人だけではない」と、勇気が湧いてくるのと同時に、子どもが小さいうちからでも就労について、みんなで考えていかなければならないというやる気がわいてきました。微力ながらも携わらせていただいて良かった。
- 西部地区だけでなく、県全域に広報され、企業、保護者、関係する方々、興味を持っていただいている方々が集まり、セミナーを開催できたことはとても重要で大きな成果となったのではないのでしょうか。
- パネラーの方の真剣に取り組む姿を近くで見ることができ、準備等に携われて良かったと思った。原稿に緊張した様子で目を通されていたり、企業の方同士のお話なども聞けて参考になりました。

## ② 課題

- 高等部の保護者は目前のことなので、参加が多かったのではと思いますが、小中学部の保護者の方にも決して早すぎないことだと意識を促す工夫をしなくてはと思いました。
- PTAが主催であったものの、やはり先生方に頼りすぎたかなと思いました。もう少しなれてきたら、保護者も、もっと出来ることがあるように思いました。
- 就労に向けてのセミナーとして、「何を訴えたいか（対象は企業？親？こども？）」を決めた方が良いのではないかと。内容が盛りだくさんで、セミナーでやらなくても校内で出来ることもあったような気がします。企業の方の参加を考えれば、午前中で終わるようにした方が参加が多くなるのでは・・・。

## 4 おわりに

はじめに、全国特別支援知的障がい校「調査研究助成事業」として設定していただいた事により、本年度の就労促進セミナーがより充実した活動になりました事へお礼申し上げます。

就労促進セミナーへ向けては、沢山の方のお力を借りながら、様々な角度より準備してまいりました。反省する点は、まだ多いものの、一緒に活動して下さるPTA会員の皆様方が増えたこと、また、一緒に達成感を感じることができたのは喜びでありました。

このセミナーを通して、「他人まかせではだめ！」「お互いさま！」と、協力し合えることなど、大切なキーワードに気がついてくださる方が増えたように感じます。また、セミナーを中心とした他の行事へも、他校（一般校）からの参加があり交流を深め、障がい者、特別支援学校のことを全く知らなかった方へも「気づきと啓発」へと繋げる事ができました。そして、本校の会員同士のつながり、企業、行政、卒業生、地域などの繋がりを築ける一歩が踏み出せたように思います。

まだまだ歩き出したばかりの活動ですが、一人一人の繋がりを大切にしながら、沢山の方と歩みを進め、少しでも高いレベルで子ども達を支えられるようなPTAを目指したいと思います。

この度の就労促進セミナーをはじめとする障がい種を越えた連携が、鳥取県西部だけにとどまらず、県全体の活動になるように拡大継続していきたいと考えています。また、学習会などを通して保護者の認識力を高め、協力し合って、高いレベルで子ども達をバックアップできるようにしたいとも思います。

最後に、先生方をはじめ、この事業及び全てのPTA活動にご協力をいただいた方に心より感謝とお礼を申し上げます。



別紙1 平成22年度 「鳥取県特別支援学校就労促進セミナー」実施予定表(案)

H22. 5. 31

月日	対外交渉	大会運営	案内	会計	その他
5月	全国特別支援学校知的障害教育校PTA連合会「調査研究助成事業」認可 予算40万円				
	<p style="text-align: center;"><b>平成22年度 鳥取県特別支援学校就労促進セミナー実行委員会</b> (県立米子養護学校PTA・県立皆生養護学校PTA・県立鳥取聾学校ひまわり分校PTA)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行員会組織</li> <li>・開催要項</li> <li>・日程及び役割分担</li> </ul>				
6月	○後援依頼 ○意見発表生徒決定 ○パネラー決定	6/24(木) ○第2回実行委員会 ・セミナー実施計画 内容検討	○後援依頼状発送 ○意見発表生徒依頼状 ○パネラー依頼状発送	・予算見積 (細案)	6/24(木) 執行部会 (県米)
7月	○ポスターチラシ作成	7/8(木) ○第3回実行委員会	○1次案内発送 ・ポスターチラシ配布		7/1(木) 県知P・県P連 7/8(木) 執行部会 (県米)
8月	○パネラー取材 ビデオ編集	未定 ○第4回実行委員会	・2次案内発送(未定) ・ポスターチラシ配布		
9月	○パネラーとの打合せ	9/8(水) ○参加者集約			9/9(木) 執行部会 評議員会
		9/9(木) ○5回実行委員会			
		9/16(木) 前日会場準備			
		9/17(金)			
<b>平成22年度 鳥取県特別支援学校就労促進セミナー開催</b>					
		○アンケート集約	・礼状作成・発送		
10月		10/21 ○6回実行委員会 ○完了報告書作成開始		○収支決算 書作成	10/21(木) 執行部会
11月					11/18(木) 執行部会
事業報告書と収支決算報告書送付					

↓

2月末 本部事務局がまとめて印刷し全国配布

わたしたちの  
心のさけびを  
聞いてほしい

10:00～ 学校紹介、学習公開  
11:00～ 障がい者雇用の制度と支援について  
13:15～

生徒たちからのメッセージ

私たちも働きたい

13:50～ パネルディスカッション  
企業で働くって？  
～卒業生と保護者から

14:40～ パネルディスカッション  
障がい者雇用をめぐる  
～事業所から

僕たちも  
やればできるんだ!

みんなで考えよう、障がい者の雇用。  
働けない人なんて、いないんです!

# 鳥取県特別支援学校就労促進セミナー

会場 鳥取県立米子養護学校

日時 9月17日(金)

午前の部 10時より  
午後の部 13時10分より

主催 鳥取県立米子養護学校PTA  
共催 鳥取県立皆生養護学校PTA 鳥取県立鳥取雙学校ひまわり分校PTA  
後援 鳥取県教育委員会 鳥取県特別支援学校PTA連合会

お問い合わせ 鳥取県立米子養護学校

米子市蚊屋343 0859-27-3411

URL <http://www.torikyo.ed.jp/yonagoyo-s>





## 別紙 2

## 平成 22 年度 鳥取県特別支援学校就労促進セミナー役割分担

係分担	1	2	4	5	6	10	11	1 2	
	総務	会場設営	広報掲示	受付	接待	会場記録	弁当、湯茶 駐車場	会計	
担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ P T A 会長</li> <li>○ 教頭、主幹教諭</li> <li>○ 支援部 (県米：3名) (皆生：2名)</li> <li>○ 事務長 (県米)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校 (県米：教務)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校 (皆生)</li> <li>○ 進路指導部 (皆生)</li> <li>○ 広報部 (県米)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人権教育部 (県米)</li> <li>○ 人権教育部 (皆生)</li> <li>○ ひまわり分校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 厚生部 (県米)</li> <li>○ 執行部 (皆生)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研修部 (県米)</li> <li>○ サポート部 (県米)</li> <li>○ 研修部 (皆生)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学芸部 (県米)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事務長 (県米)</li> </ul>	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施計画作成、渉外</li> <li>・ 文書作成発送</li> <li>・ パネリスト事取材等</li> <li>・ 封筒作成</li> <li>・ 予算</li> <li>・ アンケート作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会場配置図</li> <li>・ 看板・表示等の掲示物</li> <li>・ 情報機器設置操作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポスター作成 (皆生)</li> <li>・ チラシ作成 (皆生)</li> <li>・ 配布計画 (県米)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者名簿作り</li> <li>・ 当日受付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意義表者、パネラー等の誘導、接待、見送り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会場整理</li> <li>・ 記録 (写真、V T R 撮影 発言内容)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 弁当手配、湯茶等</li> <li>・ 駐車場誘導、案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会計処理</li> <li>※ 予算は総務</li> </ul>	
6 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実施計画作成</li> <li>○ 後援依頼</li> <li>○ 意見発表依頼</li> <li>○ パネラー依頼</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会場設営計画</li> <li>○ 使用機器把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ポスター作成 (100 枚)</li> <li>○ 案内チラシ作成 (3500 枚)</li> <li>※ 業者見積依頼</li> <li>※ 業者作成依頼</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 場所、手順の確認</li> <li>○ リボン作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 案内計画 経路確認</li> <li>○ 受付①パネラー等</li> <li>○ ②外部来校者</li> <li>○ ③小中保護者</li> <li>○ ④高保護者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 案内計画 経路確認</li> <li>○ 受付①パネラー</li> <li>・ 菓子、お茶準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会場内誘導の役割分担</li> <li>○ 記録の役割分担 (写真、V T R 撮影 発言内容)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会場内誘導の役割分担</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支出計画</li> </ul>
7 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第一次案内発送</li> <li>・ ポスター、チラシ 配布</li> </ul>								
8 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第二次案内発送 (未定)</li> <li>○ パネリスト事前取材等</li> </ul>								
9 月 9 / 1 6 (木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 参加申込締切</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 参加者名簿作成</li> </ul>					
9 / 1 7 (金) 9:00 集合	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会場全体指示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 看板・机配置</li> <li>・ 表示貼付</li> <li>・ 座席案内</li> <li>・ 機器設置、操作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 諸表示渡し 確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受付</li> <li>・ リボン渡し</li> <li>・ 誘導 (来賓等)</li> <li>・ 資料渡配布</li> <li>・ アンケート回収</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受付から控え室へ案内</li> <li>・ 接待</li> <li>・ 誘導 (ステージ、客席)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会場整理</li> <li>・ 記録写真 V T R 撮影</li> <li>・ 内容記録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場案内</li> <li>・ 校庭等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会計処理</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 礼状作成、発送</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>片づけ 16:00 ~ P T A 保護者、教職員</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 記録等整理</li> </ul>	

係分担	No. 2											
	1	2	4	5	6	10	11	12				
	総務	会場設営	広報掲示	受付	接待	会場録	弁当、湯茶 駐車場	会計				
10月	○事業報告書作成開始							○収支決算書作成				
11月	○事業報告書、収支決算書送付											

平成22年度鳥取県特別支援学校就労促進セミナー  
～私たちも働きたい～  
開催要項

- 1 目的 特別支援学校高等部生徒の一般就労は依然として厳しい状況が続いている。本セミナーでは、当事者本人、障がい者雇用・就労に関わる企業、卒業生、支援者など、それぞれの立場から障がい者の就労促進について、現状や思いを発表することで、参加者全員が障がい者の就労について理解を深め、就労促進について考える機会としたい。
- 2 期 日 平成22年9月17日（金）
- 3 会 場 鳥取県立米子養護学校 各作業室及び大体育館  
米子市蚊屋343番地 電話（0859）27-3411
- 4 主 催 鳥取県立米子養護学校PTA  
共 催 鳥取県立皆生養護学校PTA  
後 援 鳥取県立鳥取聾学校ひまわり分校PTA  
鳥取県教育委員会  
鳥取県特別支援学校PTA連合会
- 5 参加者 鳥取県立米子養護学校生徒・保護者・職員 鳥取県立皆生養護学校生徒・保護者・職員 鳥取県立鳥取聾学校ひまわり分校保護者・職員 鳥取県西部地区事業所 県内特別支援学校保護者・職員 その他関係機関
- 6 日 程
- |             |                                                                                                                                                 |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9:30～       | 受付                                                                                                                                              |
| 10:00～10:05 | 開会                                                                                                                                              |
| 10:05～10:20 | 学校紹介（大体育館）<br>鳥取県立米子養護学校高等部作業学習<br>鳥取県立皆生養護学校高等部の学習                                                                                             |
| 10:20～11:00 | 学習公開（作業室など）                                                                                                                                     |
| 11:00～12:20 | 障がい者雇用の制度と支援について<br>説明および情報提供<br>鳥取県職業センター、米子ハローワーク                                                                                             |
| 12:20～13:00 | 昼食・休憩・受付                                                                                                                                        |
| 13:10～13:15 | 開会（大体育館）                                                                                                                                        |
| 13:15～13:50 | 生徒意見発表 5名                                                                                                                                       |
| 13:50～14:30 | 県立米子養護学校及び県立皆生養護学校生徒<br>パネルディスカッション1<br>～働いている卒業生から～ 2名<br>～働いている卒業生の保護者から～ 2名<br>コーディネーター（県米進路担当）（皆生進路担当）                                      |
| 14:30～14:40 | 休憩                                                                                                                                              |
| 14:40～15:55 | パネルディスカッション2<br>～障がい者雇用をめぐって～<br>皆生養護学校卒業生を雇用している事業所<br>米子養護学校卒業生を雇用している事業所<br>障がい者雇用を考え、検討している事業所<br>意見交換<br>コーディネーター<br>（県米元PTA副会長）（皆生前PTA会長） |
| 15:55～16:00 | 閉会                                                                                                                                              |
- 7 申込方法
- ・ファクシミリまたはEメールで、所定の申込書に記入の上、申し込みください。
  - ・申込書は、県立米子養護学校ホームページからダウンロードできます。  
アドレス：<http://www.torikyo.ed.jp/yonagoyo-s/>
  - ・申込期限 平成22年9月10日（金）



<p>受付</p>	<p>13:00</p>	<p>高等部生徒コーラス 生徒29名</p>	<p>セミナー参加</p>	<p>○受付開始 ・資料等配布 ・案内</p>	<p>○パネリスト、コーディネーターを応接室へ案内 ○体育館へ誘導</p>	<p>・写真撮影 ・VTR撮影</p>	<p>○駐車場誘導開始 ※輪番で対応しなからセミナーへ参加</p>	<p>別紙4</p>
<p>13:10 開会</p>	<p>13:15</p>	<p>生徒意見発表5名</p>	<p>セミナー参加</p>	<p>午後参加者の受付が終われば大体でセミナーに参加</p>	<p>○帰られる方を玄関まで見送る。</p>	<p>○発言内容記録</p>	<p>13:30頃 誘導終了</p>	<p>500ml ペットボトル のお茶、紙コップ等の購入 準備は学校</p>
<p>13:50</p>	<p>14:30 休憩</p>	<p>○パネル ディスカッション1 ・卒業生2 ・保護者2 ・コーディネーター2</p>	<p>○長机等配置 ・お茶(ペットボトル) ・紙コップ 7ヶ</p>	<p>○受付開始 ・資料等配布 ・案内</p>	<p>○帰られる方を玄関まで見送る。</p>	<p>○発言内容記録</p>	<p>13:30頃 誘導終了</p>	<p>500ml ペットボトル のお茶、紙コップ等の購入 準備は学校</p>
<p>14:40</p>	<p>15:55 閉会</p>	<p>○パネル ディスカッション2 ・事業所3 ・コーディネーター2</p>	<p>○表示貼りかえ お茶(ペットボトル) 紙コップ 7ヶ</p>	<p>○受付開始 ・資料等配布 ・案内</p>	<p>○帰られる方を玄関まで見送る。</p>	<p>○発言内容記録</p>	<p>13:30頃 誘導終了</p>	<p>500ml ペットボトル のお茶、紙コップ等の購入 準備は学校</p>
<p>16:00 終了</p>	<p>16:10</p>	<p>○皆生の生徒学校発</p>	<p>片づけ : PTA保護者、教職員</p>	<p>○受付開始 ・資料等配布 ・案内</p>	<p>○帰られる方を玄関まで見送る。</p>	<p>○発言内容記録</p>	<p>13:30頃 誘導終了</p>	<p>500ml ペットボトル のお茶、紙コップ等の購入 準備は学校</p>
<p>16:30 解散</p>	<p></p>	<p></p>	<p>挨拶 実行委員長 副実行委員長</p>	<p>○受付開始 ・資料等配布 ・案内</p>	<p>○帰られる方を玄関まで見送る。</p>	<p>○発言内容記録</p>	<p>13:30頃 誘導終了</p>	<p>500ml ペットボトル のお茶、紙コップ等の購入 準備は学校</p>

